

シラバス

2026年度
(11期生)



社会医療法人 天神会

古賀国際看護学院

KOGA International Nursing School

目次

カリキュラム（年間計画）
講師別カリキュラム時間表
実務経験のある講師の一覧

1. 基礎分野

論理学
文化人類学
教育学
人間工学
情報科学
家族と社会学
心理学
人間関係論
国際関係論
カウンセリング論
スポーツレクリエーション
中国語
英会話
医療英語

2. 専門基礎分野

解剖生理学Ⅰ（総論、消化器、呼吸器、血液・造血器、循環器）
解剖生理学Ⅱ（腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器）
解剖生理学Ⅲ（脳・神経、感覚器、女性生殖器）
生化学
栄養学
病理学

疾病論Ⅰ（呼吸器）
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）
疾病論Ⅳ（内分泌・代謝）
疾病論Ⅴ（運動器・脳・神経）
疾病論Ⅵ（女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線）
疾病論Ⅶ（皮膚、眼、耳鼻咽頭、歯・口腔）
薬理学
微生物学
看護につなぐ
社会福祉
看護関係法令
公衆衛生
総合医療論
暮らしを支えるチームケア
看護の場を知る

3. 専門分野

看護学概論
看護理論
生活援助技術Ⅰ（看護技術とは 環境）
生活援助技術Ⅱ（清潔・衣生活）
生活援助技術Ⅲ（活動・休息）
生活援助技術Ⅳ（食事・排泄）
看護共通技術Ⅰ（コミュニケーション）
看護共通技術Ⅱ（ヘルスアセスメント）
看護共通技術Ⅲ（安全・安楽の技術）
看護共通技術Ⅳ（看護過程展開の技術）
診療の補助技術
暮らしと健康
地域を視る
地域保健活動
地域・在宅看護概論
地域・在宅看護方法論Ⅰ（在宅療養を支える技術）
地域・在宅看護方法論Ⅱ（状態別看護）
成人看護学概論
成人看護学方法論Ⅰ（慢性期看護）

成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）
成人看護学方法論Ⅲ（回復期看護）
老年看護学概論
老年看護学方法論Ⅰ（ADLに障害を有する高齢者の看護）
老年看護学方法論Ⅱ（疾病論 認知症を有する高齢者の看護）
小児看護学概論
小児看護学方法論Ⅰ（疾病論）
小児看護学方法論Ⅱ（健康問題を有する小児の看護）
母性看護学概論
母性看護学方法論Ⅰ（マタニティーサイクルにおける看護）
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）
精神看護学概論
精神看護学方法論Ⅰ（疾病論）
精神看護学方法論Ⅱ（精神障害を有する対象の看護）
看護管理
医療安全
災害看護学・国際看護学
統合看護技術

4. 領域横断

看護研究
家族看護
気づきのトレーニング
薬物療法と看護
周術期と看護
エンド・オブ・ライフ・ケア

カリキュラム(年間計画)

教育内容	新カリキュラム	単位数	時間数	1年次				2年次				3年次						
				前期		後期		前期		後期		前期		後期				
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数			
基礎分野	科学的思考の基礎	論理学	1	30			1	30										
		文化人類学	1	15	1	15												
		教育学	1	30			1	30										
		人間工学	1	30	1	30												
		情報科学	1	30	1	15	(1)	15										
	人間と生活・社会の理解	家族と社会学	1	30	1	30												
		心理学	1	15			1	15										
		人間関係論	1	30	1	30												
		国際関係論	1	15			1	15										
		カウンセリング論	1	15					1	15								
		スポーツレクレーション	1	15			1	15										
		中国語	1	15					1	15								
		英会話	1	15			1	15										
		医療英語	1	30						1	30							
基礎分野 単位数計(14)		14	315	5	120	6	135	2	30	1	30	0	0	0	0	0		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ(総論、消化器、呼吸器、血液・造血、循環器)	1	30	1	30												
		解剖生理学Ⅱ(腎・泌尿器、内分泌・代謝、運動器)	1	30	1	30												
		解剖生理学Ⅲ(脳・神経、感覚器、女性生殖器)	1	30	1	30												
		生化学	1	30			1	30										
		栄養学	1	30			1	30										
		疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1	15	1	15											
			疾病論Ⅰ(呼吸器)	1	15	1	15											
	疾病論Ⅱ(循環器、血液・造血器)		1	30	1	30												
	疾病論Ⅲ(消化器、腎・泌尿器)		1	30	1	30												
	疾病論Ⅳ(内分泌・代謝)		1	15			1	15										
	疾病論Ⅴ(運動器、脳・神経)		1	30			1	30										
	疾病論Ⅵ(女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)		1	30			1	30										
	疾病論Ⅶ(皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔)		1	30			1	30										
	薬理学		1	30					1	30								
	微生物学		1	30			1	30										
	看護につなぐ	1	30					1	30									
	人体+疾病 (16)		16	435	7	180	7	195	2	60	0	0	0	0	0	0	0	
	健康支援と社会保障制度	社会福祉	1	30					1	30								
		看護関係法令	1	15			1	15										
		公衆衛生	1	30			1	30										
		総合医療論	1	15	1	15												
		暮らしを支えるチームケア	1	15									1	15				
		看護の場を知る	1	15	1	15												
健康支援(6)		6	120	2	30	2	45	1	30	0	0	1	15	0	0	0		
専門基礎分野 単位数計(22)		22	555	9	210	9	240	3	90	0	0	1	15	0	0	0		

教育内容	新カリキュラム	単位数	時間数	1年次				2年次				3年次					
				前期		後期		前期		後期		前期		後期			
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数		
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	30	1	30											
		看護理論	1	15					1	15							
		生活援助技術Ⅰ(看護技術とは 環境)	1	15	1	15											
		生活援助技術Ⅱ(清潔・衣生活)	1	30	1	15	(1)	15									
		生活援助技術Ⅲ(活動・休息)	1	15	1	15											
		生活援助技術Ⅳ(食事・排泄)	1	30	1	15	(1)	15									
		看護共通技術Ⅰ(コミュニケーション)	1	15	1	15											
		看護共通技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1	30	1	15	(1)	15									
		看護共通技術Ⅲ(安全・安楽の技術)	1	30	1	15	(1)	15									
		看護共通技術Ⅳ(看護過程展開の技術)	1	30					1	30							
		診療の補助技術	1	30			1	30									
基礎看護学(11)		11	270	8	135	1	90	2	45	0	0	0	0	0	0	0	

教育内容	新カリキュラム	単位数	時間数	1年次		2年次		3年次		前期	後期	前期	後期				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期								
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数					単位	時間数		
専門分野	地域・在宅看護論	暮らしと健康	1	15	1	15											
		地域を視る	1	15			1	15									
		地域保健活動	1	15					1	15							
		地域・在宅看護概論	1	30			1	30									
		地域・在宅看護方法論Ⅰ(在宅療養を支える技術)	1	30			1	30									
		地域・在宅看護方法論Ⅱ(状態別看護)	1	30					1	30							
	地域・在宅看護論(6)		6	135	1	15	1	15	2	60	2	45	0	0	0	0	
	成人看護学	成人看護学概論	1	30			1	30									
		成人看護学方法論Ⅰ(慢性期看護)	1	30			1	30									
		成人看護学方法論Ⅱ(急性期看護)	1	30			1	30									
		成人看護学方法論Ⅲ(回復期看護)	1	30					1	30							
	成人看護学(6)		4	120	0	0	1	30	2	60	1	30	0	0	0	0	
	老年看護学	老年看護学概論	1	30			1	30									
		老年看護学方法論Ⅰ(ADLに障害を有する高齢者の看護)	1	30			1	30									
		老年看護学方法論Ⅱ(疾病論 認知症を有する高齢者の看護)	1	30					1	30							
	老年看護学(3)		3	90	0	0	1	30	1	30	1	30	0	0	0	0	
	小児看護学	小児看護学概論	1	30			1	30									
		小児看護学方法論Ⅰ(疾病論)	1	30			1	15	(1)	15							
		小児看護学方法論Ⅱ(健康問題を有する小児の看護)	1	30					1	30							
	小児看護学(3)		3	90	0	0	0	0	2	45	1	45	0	0	0	0	
母性看護学	母性看護学概論	1	30			1	30										
	母性看護学方法論Ⅰ(マタニティサイクルにおける看護)	1	30					1	30								
	母性看護学方法論Ⅱ(周産期の医療と看護)	1	30			1	15	(1)	15								
母性看護学(3)		3	90	0	0	0	0	2	45	1	45	0	0	0	0		
精神看護学	精神看護学概論	1	30			1	30										
	精神看護学方法論Ⅰ(疾病論)	1	30			1	30										
	精神看護学方法論Ⅱ(精神障害を有する対象の看護)	1	30					1	30								
精神看護学(3)		3	90	0	0	0	0	2	60	1	30	0	0	0	0		
看護の統合と実践	看護管理	1	15							1	15						
	医療安全	1	30							1	30						
	災害看護学・国際看護学	1	30							1	30						
	統合看護技術	1	15							1	15	(1)	15				
看護の統合と実践(4)		4	90	0	0	0	0	0	0	4	82	0	8				
専門分野 単位数		専門分野 単位数		37	975	9	150	4	165	13	345	7	225	4	82	0	8
領域横断	看護研究	1	30							1	15	(1)	15				
	家族看護	1	15			1	15										
	気づきのトレーニング	1	30			1	15	(1)	15								
	薬物療法と看護	1	15					1	15								
	周術期と看護	1	30			1	30										
	エンド・オブ・ライフ・ケア	1	15					1	15								
領域横断 単位数		6	135	0	0	0	0	3	60	2	45	1	15	1	15		
基礎科目・専門基礎・専門分野 単位数		総単位数合計(実習以外)		79	1860	23	480	19	540	21	525	10	300	6	112	0	23

教育内容	新カリキュラム	単位数	時間数	1年次				2年次				3年次					
				前期		後期		前期		後期		前期		後期			
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数		
臨地実習	基礎看護学実習	基礎看護学実習Ⅰ(コミュニケーション)	1	45	1	45											
		基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)	2	90			2	90									
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護論実習Ⅰ(地域包括ケアシステム)	1	32					1	32							
		地域・在宅看護論実習Ⅱ(訪問看護ステーション)	2	64							1	32	1	32			
	成人看護学実習	外来における看護実習(成人看護学実習)	1	45							1	30	(1)	15			
		急性期における看護実習(成人看護学実習)	2	90							1	45	1	45			
	老年看護学実習	地域で暮らす高齢者のケア(老年看護学実習)	2	90					2	90							
		回復期・慢性期における看護実習(老年看護学実習)	2	90							1	45	1	45			
		緩和ケア実習(老年看護学実習)	1	45							1	30	(1)	15			
	地域支援	地域における母子保健実習	1	32					1	32							
	小児看護学	小児看護学実習	2	64							1	32	1	32			
	母性看護学	母性看護学実習	2	90							1	45	1	45			
	精神看護学	精神看護学実習	2	90							1	45	1	45			
看護の統合と実践	看護の統合と実践実習	2	90											2	90		
臨地実習 単位計		23	957	1	45	0	0	2	90	4	154	8	304	8	364		

教育内容	新カリキュラム	単位数	時間数	1年次				2年次				3年次				
				前期		後期		前期		後期		前期		後期		
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	
		102	2937	24	525	19	540	23	615	14	454	14	416	8	387	

講師別カリキュラム時間表

教育内容	教科目	単位数	講義数	講師名	1年次		2年次		3年次					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎分野	科学的思考の基礎	物理学	1	30	中島 山穂子		30							
		文化人類学	1	15	笠堂 健司	15								
		教育学	1	30	白石 健郎		30							
		人間工学	1	30	山本 新之	30								
		情報科学	1	30	森 由紀	15	15							
	人間と生活・社会の理解	家庭と社会学	1	30	中西 貴嗣	30								
		心理学	1	15	城戸 山重雄		15							
		人間関係論	1	30	江藤 智佳子	30								
		国際関係論	1	15	古賀 泰久		15							
		カウンセリング論	1	15	吉島 博子			15						
		スポーツメンタリション	1	15	永山 寛		15							
		中国語	1	15	江 博			15						
英会話	1	15	橋本 学		15									
英検準級	1	30	神代 良子				30							
単位・時間合計		14	315		120	135	30	30						
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ (頭部、消化器、呼吸器、泌尿・排泄、循環器)	1	30	水戸田 順子	30								
		解剖生理学Ⅱ (骨・軟骨、内分泌、感覚器)	1	30	新関 国光	30								
		解剖生理学Ⅲ (脳・神経、視覚器、女性生殖器)	1	30	新関 国光	30								
		生化学	1	30	佐藤 高明 折尾 正一 原田 二郎		0 10 0							
		栄養学	1	30	山口 雅 橋本 聖恵子 佐藤 真美子		0 15 14							
	疾病の成り立ちと回復の促進	内科学	内科学Ⅰ	1	15	新保 泰夫	15							
			内科学Ⅱ	呼吸器	1	15	栗田 淳介 日輪 次郎 折田 穂江 横田 智史 平井 智広	15 0 4 2 2						
				消化器	腎	1	30	古賀 博和 山口 和樹 高橋 良太	2 2 2					
					泌尿器	1	30	高橋 利昭 福地 悠子 水田 龍一	2 2 0					
		内科学Ⅲ	内分泌・代謝	腎	1	30	中村 弘樹 尾藤 信基 佐藤 博康	10 4 4						
				泌尿器	1	30	松本 有里子 渡辺 雄也 原田 明斗	0 2 2						
			内科学Ⅳ	内分泌・代謝	腎	1	15	日輪 孝二 藤松 雄也	0 0					
					運動器	1	30	二之宮 謙 原田 帆 二ツ松 勲	0 10 4					
		内科学Ⅴ	脳・神経	脳・神経	1	30	鎌谷 政憲 如堂 寛哉 菅原 明彦	0 4 0						
				アレルギー・感染症	1	30	菅原 明彦 尾藤 次基 中島 伸史	0 0 0						
			内科学Ⅵ	女性生殖器	1	30	尾藤 勇樹 小野 研 甘崎 博史	2 4 2						
				泌尿器	1	30	山口 穂広 林 浩 鈴木 久美子	0 0 0						
		内科学Ⅶ	皮膚	皮膚	1	30	藤松 明彦 原田 和樹 坂本 健太郎	0 0 0		4				
				泌尿器	1	30	金子 悠哉 山口 紗代 志原 千佳	0 0 0		0 0 4				
			薬理学	薬理学	1	30	原 好真 藤原 基		10 14					
				生理学	1	30	尾崎 静江 斎藤 麻矢子 樋口 美樹 高橋 真穂子 大久保 純子			0 0 0 0 4				
		健康支援と社会保健制度	看護について	社会福祉	1	30	中西 幸子			30				
				看護関係法令	1	15	中西 幸子		15					
				公衆衛生	1	30	斎藤 幸子		30					
				総合医療論	1	15	林 明宏 加藤 光樹	12 4						
	看護の場を知る	暮らしを支えるチームケア	暮らしを支えるチームケア	1	15	斎藤 幸子 藤田 早苗				10 0				
			看護の場を知る	1	15	斎藤 幸子 川原 千枝穂	0 0							
			看護の場を知る	1	15	斎藤 幸子 川原 千枝穂	0 0							
			看護の場を知る	1	15	斎藤 幸子 川原 千枝穂	0 0							
	単位・時間合計		22	555		210	240	90	15					

教育内容	教科目	単位数	単位数	講師名	1年次		2年次		3年次	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎看護学	看護学総論	1	30	西 恵美子	30					
	看護学概論	1	15	西 恵美子		15				
	身体援助技術Ⅰ(看護技術とは 基礎)	1	15	福田 早苗	15					
	身体援助技術Ⅱ(療養・応急)	1	30	樋口 尚穂	15	15				
	身体援助技術Ⅲ(移動・休息)	1	15	大久保 純子	15					
	身体援助技術Ⅳ(食事・排泄)	1	30	樋口 尚穂	15	15				
	看護共通技術Ⅰ(コミュニケーション)	1	15	樋口 尚穂	15					
	看護共通技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1	30	宮崎 伸久子	15					
	看護共通技術Ⅲ(安全・安楽の技術)	1	30	福田 早苗		15				
	看護共通技術Ⅳ(家庭・地域連携の技術)	1	30	宮崎 伸久子		30				
	病室の補助技術	1	30	川原 千恵美	30					
	講義上の総論	1	15	近藤 加寿子	15					
	地域・在宅看護論	地域を学ぶ	1	15	近藤 加寿子		15			
地域を学ぶ		1	15	近藤 加寿子			15			
地域・在宅看護論		1	30	本村 和久			2			
地域・在宅看護学実習Ⅰ (在宅療養を支える技術)		1	30	他田 敦子		20				
地域・在宅看護学実習Ⅱ(扶養別看護)		1	30	近藤 加寿子		10				
成人看護学	成人看護学総論	1	30	大久保 純子		30				
	成人看護学実習Ⅰ(慢性期看護)	1	30	野口 尚穂子			6			
	成人看護学実習Ⅱ(急性期看護)	1	30	高野 真由子			6			
		1	30	長生 貴大			6			
		1	30	大久保 純子			12			
	成人看護学実習Ⅲ(回復期看護)	1	30	宮地 千加子			6			
老年看護学	老年看護学総論	1	30	福田 早苗		30				
	老年看護学実習Ⅰ (ADLに障害を有する高齢者の看護)	1	30	真田 伸子			6			
	老年看護学実習Ⅱ (認知症・認知症を有する高齢者の看護)	1	30	原山 加藤代			20			
	1	30	真田 伸子			10				
小児看護学	小児看護学総論	1	30	西 恵美子		30				
	小児看護学実習Ⅰ(疾病論)	1	30	原田 美都			15			
	小児看護学実習Ⅱ (健康問題を中心とする小児の看護)	1	30	原田 美都				14		
母性看護学	母性看護学総論	1	30	森 真澄		30				
	母性看護学実習Ⅰ (マタニティサイクリングにおける看護)	1	30	森 真澄			30			
	母性看護学実習Ⅱ (産前産後の看護)	1	30	山本 広子			6			
精神看護学	精神看護学総論	1	30	原野 悠希			6			
	精神看護学実習Ⅰ(疾病論)	1	30	高野 真由子			24			
	精神看護学実習Ⅱ (精神障害を有する対象の看護)	1	30	児玉 英也			30			
	1	30	中山 勝文				16			
看護の統合と実践	看護管理	1	15	高野 真由子					8	
	医療安全	1	30	他田 敦子					8	
	災害看護学・国際看護学	1	30	原田 美都					16	
		1	30	高野 真由子					14	
	統合看護技術	1	15	原野 悠希					16	
	1	15	山崎 宏樹						8	
1	15	伊達 卓二						4		
1	15	藤田 千代子						2		
1	15	原野 悠希						6		
1	15	高野 真由子						6		
単位・時間合計		37	975		150	165	345	325	82	8
看護研究	看護研究(領域貢献)	1	30	森 真澄					6	
	実証研究(領域貢献)	1	15	真田 伸子					9	15
	気づきのトレーニング(領域貢献)	1	30	他田 敦子			15			
		1	30	他田 敦子			4			
		1	30	高野 真由子			4	4		
	実証研究と看護(領域貢献)	1	15	森 真澄			4			
		1	15	川原 千恵美			4			
	実践的看護(領域貢献)	1	30	原野 悠希				6		
		1	30	他田 敦子				4		
		1	30	福田 早苗				4		
1	30	宮崎 伸久子			30					
1	15	森 千穂美						8		
1	15	西 恵美子						8		
単位・時間合計		6	135				60	45	15	15

教育内容		教科目	単位数	単位数	講師名	1年次		2年次		3年次		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ(コミュニケーション)	1	45	高橋 真穂子 山口 暲希	45						
		基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)	2	90	高橋 真穂子 山口 暲希			90				
		地域・在宅看護学実習Ⅰ [地域包括ケアシステム]	1	32	池田 敦子 佐藤 加寿子				32			
		地域・在宅看護学実習Ⅱ [訪問看護ステーション]	2	64	池田 敦子 佐藤 加寿子					32	32	
		成人看護学 外来における看護実習 (成人看護学実習)	1	45	大久保 純子 山口 暲希					30	15	
		急性期における看護実習 (成人看護学実習)	2	90	大久保 純子					45	45	
		地域で暮らす高齢者のケア (老年看護学実習)	2	90	福田 早苗 真田 淳子			90				
		回復期・慢性期における看護実習 (老年看護学実習)	2	90	福田 早苗 真田 淳子					45	45	
		緩和ケア実習 (老年看護学実習)	1	45	西 薫穂子 川原 千穂美					30	15	
		地域支援 地域における母子保健実習	1	32	服部 運枝 伊 真澄				32			
		小児看護学 小児看護学実習	2	64	服部 運枝 西 薫穂子					32	32	
		女性看護学 女性看護学実習	2	90	伊 真澄					45	45	
		精神看護学 精神看護学実習	2	90	高橋 真穂子					45	45	
			看護の統合と実践実習	2	90	高橋 真穂子 宮崎 康文子						90
		単位・時間合計			22	957		45	0	90	154	304
総単位・時間合計			202	2927		525	540	615	454	416	387	

実務経験のある講師の一覧

科目	講師名	資格	実務経験年数	実務経験内容
心理学	城戸 由香里	公認心理師	29	施設にて公認心理師として勤務
解剖生理学Ⅱ	能間 国光	看護師	6	病院にて勤務
解剖生理学Ⅲ	能間 国光	看護師	6	病院にて勤務
栄養学	作間 理恵子	管理栄養士	26	病院（栄養課）にて勤務
栄養学	柏木 香菜子	管理栄養士	13	病院（栄養課）にて勤務
病理学	新坂 幸大	看護師	14	病院にて勤務
疾病論Ⅰ（呼吸器）	宮川 洋介	医師	43	病院（呼吸器内科）にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	川崎 友裕	医師	38	病院（循環器内科）にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	古賀 清和	医師	23	病院（心臓血管外科）にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	折田 義也	医師	22	病院（循環器内科）にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	本田 順一	医師	42	病院にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	浅田 哲史	医師	13	病院にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	平井 敬佑	医師	19	病院にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	原口 和樹	医師	15	病院にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	福岡 良太	医師	23	病院にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	副嶋 利弥	医師	9	病院にて勤務
疾病論Ⅱ（循環器、血液・造血器）	梅地 恭子	医師	20	病院にて勤務
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）	中村 弘毅	医師	30	病院（消化器内科）にて勤務
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）	馬場 活嘉	医師	20	病院（消化器外科）にて勤務
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）	池添 清彦	医師	27	病院（外科）にて勤務
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）	徳田 雄治	医師	28	病院（泌尿器科）にて勤務
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）	岩田 明斗	医師		病院にて勤務
疾病論Ⅲ（消化器、腎・泌尿器）	松本 有里子	医師	19	病院（腎臓内科）にて勤務
疾病論Ⅳ（内分泌・代謝）	川崎 英二	医師	35	病院（糖尿病・内分泌内科）にて勤務
疾病論Ⅳ（内分泌・代謝）	廣松 雄治	医師	43	病院（甲状腺・内分泌内科）にて勤務
疾病論Ⅴ（運動器、脳・神経）	二之宮 謙一	医師	30	病院（整形外科）にて勤務
疾病論Ⅴ（運動器、脳・神経）	牟田口 滋	医師	28	病院（整形外科）にて勤務
疾病論Ⅴ（運動器、脳・神経）	澁谷 統壽	医師	58	病院（脳神経内科）にて勤務
疾病論Ⅴ（運動器、脳・神経）	一ツ松 勤	医師	35	病院（脳神経外科）にて勤務
疾病論Ⅴ（運動器、脳・神経）	石堂 克哉	医師	37	病院（脳神経外科）にて勤務
疾病論Ⅵ（女性生殖系、アレルギー・感染症、放射線）	運尾 友里	医師	7	病院にて勤務
疾病論Ⅵ（女性生殖系、アレルギー・感染症、放射線）	菅沼 明彦	医師	34	病院（内科、感染症科）にて勤務
疾病論Ⅵ（女性生殖系、アレルギー・感染症、放射線）	中尾 佳史	医師	34	病院（産婦人科）にて勤務
疾病論Ⅵ（女性生殖系、アレルギー・感染症、放射線）	馬場 美樹	医師	34	病院（乳腺外科）にて勤務
疾病論Ⅵ（女性生殖系、アレルギー・感染症、放射線）	小野 研	医師	31	病院（放射線科）にて勤務
疾病論Ⅵ（女性生殖系、アレルギー・感染症、放射線）	甘井 慎史	診療放射線技師	16	病院（診療放射線課）にて勤務
疾病論Ⅶ（皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔）	山口 隆広	医師	28	病院（皮膚科）にて勤務
疾病論Ⅶ（皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔）	林 亮	医師	6	病院にて勤務
疾病論Ⅶ（皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔）	鈴木 久美子	医師	26	病院にて勤務
疾病論Ⅶ（皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔）	豊福 司生	歯科医師	46	病院（歯科、口腔外科）にて勤務
薬理学	安田 和樹	薬剤師	9	病院（薬剤課）にて勤務
薬理学	坂本 健太郎	薬剤師	12	病院（薬剤課）にて勤務
薬理学	金子 香里	薬剤師	3	病院（薬剤課）にて勤務
薬理学	山口 紗代	薬剤師	10	病院（薬剤課）にて勤務
薬理学	木原 千佳	薬剤師	1	病院（薬剤課）にて勤務
微生物学	黒岩 晃	臨床検査技師	3	病院にて勤務
看護につなぐ	池西 静江	看護師	51	病院にて看護師として勤務
看護につなぐ	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
看護につなぐ	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護につなぐ	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護につなぐ	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
社会福祉	中野 繁広	社会福祉士	26	病院（地域医療連携室）にて勤務

科目	講師名	資格	実務経験年数	実務経験内容
看護関係法令	田中 圭子	看護師	42	病院にて看護師として勤務
公衆衛生	糸瀬 孝子	保健師・看護師	38	保健所等にて勤務
総合医療論	林 明宏	医師	43	病院（呼吸器外科）にて勤務
総合医療論	加藤 光樹	医師	20	病院（内科）にて勤務
暮らしを支えるチームケア	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
暮らしを支えるチームケア	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
看護の場を知る	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
看護の場を知る	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
看護学概論	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
看護理論	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅰ（看護技術とは 環境）	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅱ（清潔・衣生活）	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅲ（活動・休息）	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
生活援助技術Ⅳ（食事・排泄）	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅰ（コミュニケーション）	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅱ（ヘルスアセスメント）	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅱ（ヘルスアセスメント）	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅲ（安全・安楽の技術）	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
看護共通技術Ⅳ（看護過程展開の技術）	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
診療の補助技術	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
暮らしと健康	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
地域を視る	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
地域保健活動	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護概論	池田 敦子	看護師	17	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護概論	本村 和久	医師	28	病院にて勤務
地域・在宅看護方法論Ⅰ（在宅療養を支える技術）	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅰ（在宅療養を支える技術）	大村 ちあき	看護師	26	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅰ（在宅療養を支える技術）	後藤 めぐみ	看護師	26	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅱ（状態別看護）	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護方法論Ⅱ（状態別看護）	大村 ちあき	看護師	26	病院にて看護師として勤務
成人看護学概論	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ（慢性期看護）	野口 由紀子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ（慢性期看護）	萬野 恵美子	看護師	27	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ（慢性期看護）	長主 貴大	看護師	16	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅰ（慢性期看護）	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）	本川 満	看護師	22	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）	森 さつき	看護師	23	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）	宮地 千加子	看護師	29	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）	岩本 雅俊	看護師	29	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅱ（急性期看護）	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅲ（回復期看護）	高倉 望	看護師	24	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅲ（回復期看護）	林田 晶子	看護師	29	病院にて看護師として勤務
成人看護学方法論Ⅲ（回復期看護）	成富 耕治	理学療法士	22	病院（リハビリテーション）にて勤務
成人看護学方法論Ⅲ（回復期看護）	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
老年看護学概論	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
老年看護学方法論Ⅰ（ADLに障害を有する高齢者の看護）	真田 洋子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
老年看護学方法論Ⅱ（疾病論 認知症を有する高齢者の看護）	深山 加寿代	看護師	37	病院にて看護師として勤務
老年看護学方法論Ⅱ（疾病論 認知症を有する高齢者の看護）	真田 洋子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
小児看護学概論	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
小児看護学概論	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
小児看護学方法論Ⅰ（疾病論）	轟 知光	医師	40	病院（小児科）にて勤務
小児看護学方法論Ⅰ（疾病論）	横田 吾郎	医師	22	病院（小児科）にて勤務

科目	講師名	資格	実務経験年数	実務経験内容
小児看護学方法論Ⅱ（健康問題を有する小児の看護）	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
母性看護学概論	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
母性看護学方法論Ⅰ（マタニティサイクルにおける看護）	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）	山本 広子	医師	17	病院（婦人科）にて勤務
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）	愛洲 紀子	医師	21	病院（婦人科）にて勤務
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）	岡本 優	医師		病院（婦人科）にて勤務
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）	伊東 貴美代	助産師		病院にて看護師として勤務
母性看護学方法論Ⅱ（周産期の医療と看護）	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
精神看護学概論	坂巻 法明	精神保健福祉士	6	病院にて精神保健福祉士として勤務
精神看護学概論	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
精神看護学方法論Ⅰ（疾病論）	児玉 英也	医師	13	病院（精神神経科）にて勤務
精神看護学方法論Ⅱ（精神障害を有する対象の看護）	中山 暁文	看護師		病院にて看護師として勤務
精神看護学方法論Ⅱ（精神障害を有する対象の看護）	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
看護管理	古賀 千代美	看護師	35	病院にて看護師として勤務
看護管理	池末 直子	看護師	37	病院にて看護師として勤務
医療安全	坂田 真佐子	看護師	34	病院にて看護師として勤務
医療安全	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
災害看護学・国際看護学	山崎 宏美	看護師	31	病院にて看護師として勤務
災害看護学・国際看護学	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
災害看護学・国際看護学	伊達 卓二		39	国際保健医療分野専門家として従事
災害看護学・国際看護学	藤田 千代子	看護師	43	国際協力に従事
統合看護技術	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
統合看護技術	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
看護研究（領域横断）	真田 洋子	看護師	26	病院にて看護師として勤務
家族看護（領域横断）	池田 敦子	看護師	17	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング（領域横断）	池西 静江	看護師	51	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング（領域横断）	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング（領域横断）	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング（領域横断）	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
気づきのトレーニング（領域横断）	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
薬物療法と看護（領域横断）	池西 静江	看護師	51	病院にて看護師として勤務
薬物療法と看護（領域横断）	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
薬物療法と看護（領域横断）	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
周術期と看護（領域横断）	宮崎 亜矢子	看護師	12	病院にて看護師として勤務
エンド・オブ・ライフ・ケア	森 千穂美	看護師	30	病院にて看護師として勤務
エンド・オブ・ライフ・ケア	西 恵美子	看護師	9	病院にて看護師として勤務
基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション）	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	樋口 美樹	看護師	18	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護実習Ⅰ（地域包括支援センター）	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
地域・在宅看護実習Ⅱ（訪問看護ステーション）	近藤 加奈子	看護師	22	病院にて看護師として勤務
外来における看護実習（成人看護学実習）	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
急性期における看護実習（成人看護学実習）	大久保 純子	看護師	18	病院にて看護師として勤務
地域で暮らす高齢者のケア（老年看護学実習）	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
回復期・慢性期における看護実習（老年看護学実習）	福田 早苗	看護師	25	病院にて看護師として勤務
緩和ケア実習（老年看護学実習）	川原 千恵美	看護師	15	病院にて看護師として勤務
地域における母子保健実習	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
小児看護学実習	服部 道枝	看護師	12	病院にて看護師として勤務
母性看護学実習	森 真澄	看護師	16	病院にて看護師として勤務
精神看護学実習	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務
看護の統合と実践実習	高園 真理子	看護師	23	病院にて看護師として勤務

基礎分野

分野:基礎分野 科目:論理学

【 1単位:30時間 授業回数:15回 】

担当教員	中島 由美子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	合理的な思考の規則を学び、他者の考えを理解し、自分の考えを論理的に組み立て自己表現できるように論理の力を身につける。				
到達目標	1. 論文・レポートを書く基礎的法則を知り文書構成ができる。 2. 他者の考えを聞き、自分の考えを表現し議論することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	「論理」とはなにか	講義		中島
	2	論理的に読む 1.接続語	講義		中島
	3	論理的に読む 2.語句	講義		中島
	4	論理的に読む 3.指示語	講義		中島
	5	論理的に読む 4.内容説明	講義		中島
	6	論理的に読む 5.理由説明	講義・演習		中島
	7	論理的に読む 6.脱分挿入	講義・演習		中島
	8	正しい文章の書き方 1.表現の基礎	講義・演習		中島
	9	論理的に書く 1.小論文とは何か①	講義・演習		中島
	10	論理的に書く 2.小論文とは何か②	講義・演習		中島
	11	論理的に書く 3. 小論文とは何か③	講義・演習		中島
	12	論理的に書く 4. どういう文体で書くのか①	講義・演習		中島
	13	論理的に書く 5. どういう文体で書くのか②	講義・演習		中島
	14	正しい文章の書き方 1. 敬語	講義・演習		中島
15	講義のまとめ	講義		中島	
使用テキスト等	テキストは使用しない。教材を配布する。				
主たる参考図書・文献	看護学生のための「読む力」「書く力」レッスンBOOK【日本看護協会出版会】				
評価方法	筆記試験				
学生へのメッセージ	論理的に読むこと書くことの基礎を学び、他者に理解してもらえる文章力をつけることを目指します。練習問題などに取り組む積極的な態度を評価します。				

分野:基礎分野		科目:文化人類学		【1単位: 15時間 授業回数: 8回】	
担当教員	尾堂 修司	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	衣食住の生活様式・儀礼・人間関係、宗教、生活形態を通して、世界の人々が培ってきたそれぞれの生活の伝承文化を学び、より深い人間理解に繋がる気づきを得る。				
到達目標	東アジアの文化を理解するために不可欠な儒教・仏教・道教の関係と歴史を概観し、それぞれの身体観、死生観や生活倫理などの異同を再確認する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	文化人類学とは 比較文化とシンクレティズムについて	講義	テキスト1章の 予習	尾堂
	2	東アジアのシンクレティズム 主要な宗教・思想の概観	講義	テキスト2章の 予習	尾堂
	3	身体観と死生観の比較文化 儒教と仏教	講義	テキスト3章の 予習	尾堂
	4	儒教道徳における孝と家族・祖先観念	講義	テキスト4章の 予習	尾堂
	5	道教 現世利益を願う福祿寿や呪術信仰	講義	テキスト5章の 予習	尾堂
	6	仏教・神道の死生観・死後の世界観	講義	テキスト8章の 予習	尾堂
	7	東アジアのシンクレティズム 儒教・仏教・道教の三つ巴	講義	テキスト9章の 予習	尾堂
	8	まとめ	講義		尾堂
使用テキスト等	菊池 章太 儒教・仏教・道教 東アジアの思想空間【講談社】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(毎回の小レポート、受講態度)				
学生へのメッセージ	授業の理解を助ける短いアニメを活用します				

分野:基礎分野 科目:教育学		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】			
担当教員	白石 義郎	年次・開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	社会生活を行う上での価値観、習慣、看護と教育について考え、教育の理論、教育方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における教育とケアの意義を理解する。 2. 教育の理論と方法を学び、看護に応用できる指導・教育の基礎を学ぶ。 3. 患者理解に基づく適切な指導・教育ができる。 4. 社会の要請に対応し、自己啓発と、生涯にわたって学び続ける姿勢を持つ。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	「看護入門」:看護師になるための学習	講義 GW	「看護学概論」	白石
	2	ナイチンゲールの「看護覚書」を読む①:回復過程	講義 GW		白石
	1	ナイチンゲールの「看護覚書」を読む②:環境	講義 GW		白石
	4	ナイチンゲールの「看護覚書」を読む③:観察	講義 GW		白石
	5	他覚的サインの観察:バイタルサイン	講義 GW		白石
	6	ヘンダーソン「看護の基本となるもの」を学ぶ① 看護の基本	講義 GW		白石
	7	自覚的サインの観察:痛み	講義 GW		白石
	8	ナイチンゲールの看護の事例	講義 GW		白石
	9	ヘンダーソン「看護の基本となるもの」:生理的ニード	講義 GW		白石
	10	ヘンダーソン「看護の基本となるもの」:ニードと自立	講義 GW		白石
	11	成長と看護(1):幼年期	講義 GW		白石
	12	成長と看護(2):青年期	講義 GW		白石
	13	ケーススタディ	講義 GW		白石
	14	はげましの言葉:聞き上手	講義 GW		白石
15	まとめ(講義内試験)	講義 GW		白石	
使用テキスト等	系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論【医学書院】、プリント配布				
主たる参考図書・文献	講義のなかで紹介します				
評価方法	授業への積極的な参加 30% 小テスト 30% レポート 40%				
学生へのメッセージ	学習力を高めるために、短い文を書いてもらいます				

分野:基礎分|科目:人間工学

【1単位: 30時間 授業回数:15回】

担当教員	山本耕之	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	飛行機事故の原因解明研究から人間工学が始まり、その改善法も導き出された。医療現場での看護動作は、ヒトの運動特性を、人間工学的に解釈することで可能となる。即ち、体内の筋肉が、テコである骨の力点に働き、関節を支点として四肢、頭部の先端が作用点として運動する。無理をしない姿勢と運動の力学、及び看護医療の安全を学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間工学の基礎的概念と看護学との関係性について説明できる。 2. 看護動作は筋と骨格のテコ作用に基づくもので、四肢関節の負荷による消耗の低減方法を力学で見いだせる。 3. 患者さんと看護師自身に安全な看護介助活動法を見出す基礎力を持つ。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	人間工学への導入 エルゴノミクス、動物、及び人の体の骨格筋の特徴	講義	解剖学	山本	
	2	医療活動の安全に関する創意工夫の導出の進め方 KJ法などについて	講義		山本	
	3	五感とセンサー 血圧測定の原理、測定部の(圧力)センサー、 医療機器設備のセンサー	講義	制御工学	山本	
	4	看護の現場でのシステム:原因と結果 と云う流れ フィードバック、フィードフォワードなど	講義	制御工学	山本	
	5	看護の働きは力に依る、力はベクトル:大きさ・方向(作用線)が同時にある 物理量、単位、バイタルサインなど	講義		山本	
	6	人の体はテコの原理で動く、骨がテコ、骨に筋肉が着く、骨は関節で繋がる 筋肉付着部を力点、関節を支点、作用点は先端の手足:第三種のテコ	講義	中学理科	山本	
	7	力の図的な表現:矢印線=ベクトル:図式力学への入門 2つの力、3つの力、多い力の均合い、見えない作用線を見つける	講義 演習	高校物理	山本	
	8	図式力学、タブレットによる作図 リテラシー	講義 演習		山本	
	9	図式力学 タブレット上演習1:作用線の発見	講義 演習		山本	
	10	図式力学 タブレット上演習2:看護姿勢による腰の負担の軽減など	講義 演習		山本	
	11	図式力学 タブレット上演習3:二人で患者さんを床にかかえ上げる方法など	講義 演習		山本	
	12	図式力学 タブレット上演習4:3つの力以上多力の均合いの例	講義 演習		山本	
	13	医療看護現場の安全、事故防止、リスクとは何か マフィーの法則、ハインリッヒの法則	講義		山本	
	14	医療看護現場:医療看護システムの安全に向けての改善法 QC circle,5S,KYT,Fail Safe,Fool Proof, 緊急停止、災害対応	講義		山本	
15	バリアフリー、ユニバーサルデザインと人間工学 要点復習:力学基礎振り返り	講義 演習		山本		
使用テキスト等	看護の環境と人間工学【サイオ出版】					
主たる参考文献・文献						
評価方法	終講試験、演習状況、レポートなどから総合的に評価する					
学生へのメッセージ	中学生理科「テコの原理」、高校物理「力学」を読み直すこと					

分野:基礎分野 科目:情報科学 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	森 由紀 西木 智子	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	情報化社会の進歩に伴い情報処理の基本的な考え方、情報処理システムの医療機関への応用、医療、看護データ・ICTの処理について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者として情報科学やコンピューターに関する基礎知識を身につける。 2. 情報処理の方法と結果を解釈する力をつけ、パソコンの活用、レポート作成に活かす。 3. ICT活用における情報リテラシーを身につける。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	情報科学・コンピューター概論	講義 演習		森
	2	情報リテラシーについて	講義 演習		森
	3	コンピューター概論(復習) Word基礎①	講義 演習		西木
	4	情報科学 Googleサービスの説明 Word基礎②(文書作成)	講義 演習		西木
	5	パソコン操作 Word基礎③(ビジネス文書作成)	講義 演習		西木
	6	パソコン操作 Word④(画像挿入・イラスト挿入)	講義 演習		西木
	7	パソコン操作 Word⑤(デザイン・レイアウト) Excel基礎①(基礎・特徴等)	講義 演習		西木
	8	パソコン操作 Excel基礎②(数式・データ配置)	講義 演習		西木
	9	パソコン操作 Excel基礎③(関数)	講義 演習		西木
	10	パソコン操作 Excel基礎④(関数・グラフ)	講義 演習		西木
	11	パソコン操作 Excel基礎⑤(グラフ) Power Point基礎①(作成基礎)	講義 演習		西木
	12	パソコン操作 Power point基礎② (デザイン・アニメーション)	講義 演習		西木
	13	Wordテスト	講義 演習		西木
	14	Excel Power point テスト	講義 演習		西木
15	情報リテラシーテスト テスト解答・解説	講義 演習		西木	
使用テキスト等	医療従事者のための情報リテラシー【日経BP社】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 別巻 看護情報学				
評価方法	終講試験 PCによるテスト				
学生へのメッセージ	情報の価値を理解し、適正かつ的確に利用する重要性について学びます。また、最低限の情報処理として自ら考え実践できる、Word、Excelの使い方の基礎を学習します				

分野:基礎分野 科目:家族と社会学

【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	中西 吉則	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間の社会的側面の基本的な概念を学修し、看護社会的なものの方・考え方を学ぶ。人間生活の基礎的単位である家族が果たす社会における役割や機能について理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学の基礎概念を理解する。 2. 健康・病気と社会がどのようにかかわっているか理解する。 3. 人間生活の基盤としての現代の家族および家族の人々の関係を理解する。 4. 社会の中で、家族を単位として援助することの意義を理解する。 				
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	家族と社会学(序) 家族とは?	講義		中西
	2	家族の基礎概念(形態の変化)(1)	講義		中西
	3	家族の基礎概念(2) 配偶者選択過程(1)	講義		中西
	4	配偶者選択過程(2) 性意識と性行動	講義 DVD		中西
	5	妊娠と晩婚化 結婚・結婚式と家族(1)	講義		中西
	6	結婚と家族(2)	講義		中西
	7	親と子(出産を巡る諸問題)	講義		中西
	8	家族と人口① 世界と日本の現状	講義		中西
	9	家族と人口② DVD「ヤノママ」(日本の人口問題)	講義 DVD		中西
	10	親と暮らせない子① (児童虐待・養子縁組「こうのとりのゆりかご」)	講義		中西
	11	親と暮らせない子② 夫婦関係(現状と課題)① ドイツの暮らしと家族	講義		中西
	12	夫婦関係②離婚(現状と課題)	講義		中西
	13	子育て(1) 一般理論など	講義		中西
	14	子育て(2) 男の子の子育て	講義		中西
15	家族のジェンダー	講義		中西	
使用テキスト等	資料を配布				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 別巻 家族看護学【医学書院】 参考資料は開講時に随時紹介する				
評価方法	終講試験(筆記試験・受講態度・レポートなど)				
学生へのメッセージ	幅広いものの見方を身につけてほしい				

分野:基礎分野		科目:心理学		【1単位: 15時間		授業回数: 8回		】	
担当教員	城戸 由香里		年次・開講時期	1年後期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	人間の心理に関する基礎的知識と人間尊重の基盤を学ぶ。また、その学修をもとに自己理解や看護専門職への適応を促す内容とする。								
到達目標	1. 人間の心理に関する基礎知識を修得する。 2. 人間心理の諸側面について学修し、自己理解・他者理解を深める。								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	心理学とは 看護師として心理学を学ぶとは	講義		城戸				
	2	学習・記憶	講義		城戸				
	3	発達の心理Ⅰ 乳・幼児期	講義		城戸				
	4	発達の心理Ⅱ 青年期～老年期	講義		城戸				
	5	社会・集団の心理Ⅰ	講義		城戸				
	6	社会・集団の心理Ⅱ	講義		城戸				
	7	患者の理解(ストレス)・臨床現場より 認知症高齢者・発達障害	講義		城戸				
	8	復習 確認テスト	講義		城戸				
使用テキスト等	看護学生のための心理学【医学書院】								
主たる参考図書・文献	DVD ビデオ CDは開講時に随時紹介する								
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)								
学生へのメッセージ									

分野:基礎分野 科目:人間関係論 【 1単位:30時間 授業回数:15回 】

担当教員	江藤 智佐子	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	保健医療の対人ケア職としての看護は、援助を必要とする人たちのケアだけでなくその任にあたる他の医療・福祉等の専門職間との密接な人間関係のうえに成り立っている。 仕事を円滑に実践するために必要な対人能力向上のための知識とスキルを身につける。				
到達目標	1. 看護実践において必要となる人間関係を理解する。 2. 他者との円滑な人間関係形成方法を理解する。 3. 人間関係とは何かを知り、適切な対人コミュニケーションの取り方について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	オリエンテーション	講義		江藤
	2	対人関係と役割	講義		江藤
	3	態度と対人行動／集団と個人	講義		江藤
	4	コーチング①	講義		江藤
	5	コーチング②	演習		江藤
	6	人間関係を形成するコミュニケーション①	演習		江藤
	7	人間関係を形成するコミュニケーション②	演習		江藤
	8	人間関係を形成するコミュニケーション③	演習		江藤
	9	アサーティブ-コミュニケーション①	演習		江藤
	10	アサーティブ-コミュニケーション②	演習		江藤
	11	保健医療チームの人間関係と多職種連携	講義		江藤
	12	患者を支える人間関係	講義		江藤
	13	地域をつくる人間関係	講義		江藤
	14	看護師を取り巻く人間関係 (終講試験)	講義		江藤
15	まとめ(振り返りと後期のアクションプラン)	講義・演習		江藤	
使用テキスト等	長谷川浩編『系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版』【医学書院】 小栗かよ子・藤田寛『医療安全のための接遇・クレーム対応実践マニュアル』【一般社団法人 日本看護学校協議会 共済会】				
主たる参考図書・文献	授業内で適宜紹介する。				
評価方法	課題・レポート(70%)、終講試験(筆記試験 30%)で総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	対人援助技術を向上させるためには、知識の獲得だけでなく、ICT活用も含めた実践も必要です。相手の状況に応じた適切な対人コミュニケーション能力を身につけるために、講義もアクティブラーニング形式で実施します。授業で学んだことは日常生活においても実践し、対人能力を高める努力をしてください。				

分野:基礎分野 科目:国際関係論

【1単位: 15時間

授業回数: 8回】

担当教員	古賀 幸久	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現在、国際社会のありのままの姿をみる。 国際社会を構成している国家や民族の姿をながめる。 日本と日本人の姿を国際社会の中で捉える。 私たちの進む方向性について考える。				
到達目標	1. 混沌とした国際社会にも一定の秩序と原則があることを理解する。 2. 国際社会の現象と個人の利害がつながっていることを理解する。 3. 私たちの国際社会の中で生きることの意味について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	国際関係のミクロ的認識(学ぶにあたっての自己認識)と世界と実態	講義	アンダーラインの語句を調べておくこと	古賀
	2	国際問題への対応と日常(国際関係論を実践的に考える)	講義	〃	古賀
	3	国際関係理論の展開	講義	〃	古賀
	4	国際社会の現実(過去・現在・未来) 悲劇の根本的原因を考える	講義 DVD	〃	古賀
	5	関係性とは 戦争回避のための工夫	講義	〃	古賀
	6	歴史間の関係性	講義	〃	古賀
	7	イスラム社会の生活で学ぶこと 中村哲医師の活動を通して	講義	〃	古賀
	8	国際関係論の重要点まとめ 今後の課題	講義	〃	古賀
使用テキスト等	資料配布				
主たる参考図書・文献	国際関係論 佐渡友 哲、信夫 隆司編 【弘文堂】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ	テレビや新聞、ネットなどを通じて世界情勢に敏感になろう。				

分野:基礎分野 科目:カウンセリング論 【 1単位:15時間 授業回数:8回 】

担当教員	吉良 晴子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義・演習
授業の概要	カウンセリングに役立つ理論を学ぶことで、人間のこころとその変化を理解する。				
到達目標	1. カウンセリングに関する理論と実践について理解する。 2. コミュニケーションやカウンセリングに関するスキルを身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	カウンセリングの意義・実存分析	講義 演習		吉良
	2	自己成長論(来談者中心療法)	講義 演習		吉良
	3	システム論(家族療法)	講義 演習		吉良
	4	精神力動論(精神分析)	講義 演習		吉良
	5	認知行動論(行動療法)	講義 演習		吉良
	6	認知行動論(認知行動療法)	講義 演習		吉良
	7	患者と家族のこころの理解	講義 演習		吉良
	8	まとめカウンセリングにおける統合的アプローチ 終講試験	講義 演習		吉良
使用テキスト等	配付資料				
主たる参考図書・文献	諸富祥彦 『カウンセリングの理論』(上)(下)【誠信書房】 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 【医学書院】 小林司・桜井俊子 『看護・介護のための心をかよわせる技術』【新曜社】 山萬圭輔 『基礎から学ぶカウンセリングの理論』【産業能率大学出版部】				
評価方法	終講試験(小テスト20%、筆記試験80%)				
学生へのメッセージ	授業で学んだことの理解度を測るために授業の翌週の最初に小テストを実施する。				

分野:基礎分野 科目:スポーツレクリエーション 【 1単位 : 15時間 授業回数 : 8回 】

担当教員	永山 寛	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	心身の健康増進に有用な活動を体験し理解を深める。また健康増進や疾病予防・介護予防、リハビリテーション等に活かすことのできるレクリエーションを企画・体験する。				
到達目標	1. レク活動を通して心身の健康の重要性をりかいすることができる 2. さまざまなレク活動を通して交友関係を深め、心身ともに健康な学生生活を送る。 3. 楽しんでもらえるレクリエーションを企画・体験する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	場所	担当
	1	ガイダンス レクリエーション体験・グループ分け	講義	教室等	永山
	2	レクリエーション企画	実技	教室等	永山
	3	レクリエーション実践	実技	教室等	永山
	4				
	5				
	6				
	7				
	8	まとめ	講義	教室等	永山
使用テキスト等					
主たる参考図書・文献	DVD ビデオ CD は開講時に随時紹介する				
評価方法	授業態度や参加意欲(60%) 授業内課題や提出物等(40%)				
学生へのメッセージ	・体を動かす活動があるため体調管理に留意し、動きやすい身だしなみで参加してください ・グループワークを通して、個人の役割を果たすことと集団で協力することの重要性を学んでいきましょう				

分野:基礎分野 科目:中国語

【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	沈 震	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	中国の社会・文化・医療を知るとともに、初歩的な読解力と簡単な会話が理解できる能力を身につける。					
到達目標	1. 中国語で意志伝達をする際に最低限必要な文法を修得する。 2. 臨床場面で有用な語彙を学び、同時に意志疎通に本当に必要なことは何かを考える。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	中国文化と学習の動機について考える オリエンテーション 中国漢字の由来・特徴の知識	講義		沈 震	
	2	発音紹介 母音・子音について 声調の発音方法について 数字の読み方①(1～5)	講義	単語の予習	沈 震	
	3	数字の読み方②(6～10) 日常の会話	講義 演習	単語の予習	沈 震	
	4	第1課 単語、文法、練習問題 ～である(です)、～ではありません	講義 演習	単語の予習	沈 震	
	5	第2課 文法、助詞、疑問語使い方	講義 演習		沈 震	
	6	第3課 連動文 医療用語①:症状	講義 演習	テキストを読み、挨拶の練習をしてくる	沈 震	
	7	第4課 助動詞の使い方、指示代詞の使い方 医療用語②:単語、発音、意味	講義 演習		沈 震	
8	まとめ	講義		沈 震		
使用テキスト等	初級テキスト 日中いぶこみ広場【朝日出版社】					
主たる参考図書・文献	初級中国語教室 詳解文法と作文のクラス【白帝社】 初級テキスト 中国語の教室【白帝社】 語順から学ぶ 中国語【白帝社】 他 CD 参考書は開講時に随時紹介する					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)					
学生へのメッセージ						

分野:基礎分野 科目:英会話

【 1単位:15時間 授業回数:8回 】

担当教員	満平 学	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護に必要な英語の基礎を修得し、国際人として対応できる素地を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語を介さず英単語をイメージして修得し、多くの単語を定着する。 2. スピーキング能力、リスニング能力、患者の方々に適切に対応できるようにする。 3. 英語学習は実は楽しいと認識し、全ての講義の終了後でも個々で自主学修をする。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護英会話の必要性について 表現法① 基本的な挨拶 英単語① 体の部位(上半身)	講義 演習		満平
	2	英単語② 体の部位(下半身) 表現法② 簡単な会話	講義 演習	1回目の講義 内容	満平
	3	英単語② 臓器など 表現法③ LとRの発音の違い	講義 演習	2回目の講義 内容	満平
	4	英単語③ 専門医や担当医、 表現法④ 初診の患者に対応するするための 表現	講義 演習	3回目の講義 内容	満平
	5	表現法⑤ 問診:風邪の症状、消化不良	講義 演習	4回目の講義 内容	満平
	6	表現法⑥ 問診:怪我、病気と不調	講義 演習	5回目の講義 内容	満平
	7	英単語⑥ 薬の名称や種類 表現法⑦ 薬の飲み方の説明	講義 演習	6回目の講義 内容	満平
	8	まとめ	講義 演習	全ての講義 内容	満平
使用テキスト等	資料配布(紙のフォーマットはB4もしくはB5サイズ)				
主たる参考図書・文献					
評価方法	2回目～7回目のミニテスト(平常点)および終講試験				
学生へのメッセージ	看護師としての英会話を学修しスキルアップを目指しましょう				

分野:基礎分野

科目:医療英語

【 1単位:30時間 授業回数:15回 】

担当教員	神代 良子	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現代社会のグローバル化した国際感覚を身に付け、職業の中で活用できる能力を修得する。				
到達目標	1. 医療・看護に関する英語の知識を修得する。 2. 医療・看護を実施するうえでの実践的な英会話を修得する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	身体の部位と内臓の英語表現 ナースの仕事を英語で表現	講義 演習	単語の予習	神代
	2	Unit1 ナースと患者の対話の聞き取り練習 困ったときの英語表現、新任ナース紹介の対話	講義 演習	単語の予習	神代
	3	Unit1 診療科の英語表現 患者の基本情報をカードに記入	講義 演習	単語の予習	神代
	4	Unit2 診療手続きをする 症状を尋ねる 症状を表す英語表現、測定の単位と略語	講義 演習	単語の予習	神代
	5	Unit2 診療手続きのための聞き取り 身長・体重・体温の換算について、診療申込書記入	講義 演習	単語の予習	神代
	6	Unit3 場所や時間の説明 入院時オリエンテーション、病院の備品	講義 演習	単語の予習	神代
	7	Unit4 病名を英語で覚える(クロスワードパズルで印象 づける) 家族歴、病歴の聴取表現	講義 演習	場面に合わせた例文を 考えてくる	神代
	8	Unit4 家族歴、患者病歴を情報をもとにカード作成、 病名復習	講義 演習		神代
	9	Unit5 検査に関する英語 ①検査の指示②検査名(パズルを使って覚える)	講義 演習		神代
	10	Unit6 婦人科の重要単語 Unit7 幼児期の健康問題・予防接種 小児科予診票→予防接種申込書記入	講義 演習		神代
	11	Unit8 手術に臨んでの説明、当日術後 手術名、手術方法、麻酔のタイプ、体内器官名	講義 演習		神代
	12	Unit9 手術の確認を確認シートに記入する 外科手術名(切除・摘出手術)、麻酔の種類	講義 演習		神代
	13	Unit10 ナースの仕事、薬(内服、外用)の名前・使い 方・使用頻度、看護記録カード作成	講義 演習		神代
	14	Unit10 各国の文化や宗教 文化や宗教の違いによる治療に関する心記事、 語彙復習	講義 演習		神代
15	終講テストに向けて語彙全般復習 各ユニットの要点をまとめて内容を復習	講義	神代		
使用テキスト等	クリスティーンレベルアップ看護英会話 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	英語文献 CD 参考書は開講時に随時紹介する				
評価方法	終講試験(筆記試験・課題プリント)				
学生へのメッセージ	医療・看護の分野において英語の必要性は高まっています 積極的に興味をもって取り組んでいきましょう				

專門基礎分野

科目:解剖生理学 I 分野:専門基礎分野 (構造からみた人体、人体のさまざまな器官) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】						
担当教員	木戸田 朋子		年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造を正確に理解する。 人体の構造を学び、看護に必要な健康や疾病、障害に関する観察力、洞察力を養う。					
到達目標	1. 人体の構造について学ぶ。 2. 各器官の名称、構造、しくみ等について理解する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	第1章 解剖生理学のための基礎知識A	講義	教科書対応部分を読んでおく	木戸田	
	2	第1章 B、第9章 身体機能の防御と適応A	講義		木戸田	
	3	第7章 身体の支持と運動A、B、C、D	講義		木戸田	
	4	第7章 身体の支持と運動E、F、G	講義		木戸田	
	5	第3章 呼吸と血液のはたらきA	講義		木戸田	
	6	第4章 血液の循環とその調節A、B、D	講義		木戸田	
	7	第4章 血液の循環とその調節F 第9章 B-③	講義		木戸田	
	8	第2章 栄養の消化と吸収A、B	講義		木戸田	
	9	第2章 栄養の消化と吸収C、D	講義		木戸田	
	10	第5章 体液の調節と尿の生成A、B 第10章A	講義		木戸田	
	11	第10章 生殖・発生と老化のしくみB、C	講義		木戸田	
	12	第6章 内臓機能の調節A、B、C	講義		木戸田	
	13	第8章 情報の受容と処理A、B	講義		木戸田	
	14	第8章 情報の受容と処理C、G	講義		木戸田	
15	第8章 情報の受容と処理H、I	講義	木戸田			
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】					
主たる参考図書・文献						
評価方法	筆記試験					
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である。自ら興味を持って積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい。					

科目:解剖生理学Ⅱ 分野:専門基礎分野 (ホメオスタシス、運動器、呼吸器、免疫、血液・循環器、消化器)					
【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	能間 国光	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造とはたらきを正確に理解することで疾病・障害の成り立ちが理解できる。解剖生理学Ⅰに引き続き、より発展的、生理学的知識を深める。				
到達目標	1.人体構造の基本をより発展的に学ぶ 2.身体表面、皮膚、血管、筋、骨について詳しく学ぶ 3.免疫、血液成分、呼吸、循環、消化、吸収のメカニズムを理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護の土台となる解剖生理学 ホメオスタシス フィードバック機構	講義	教科書対応部分を読んでおく	能間
		身体機能の防御と適応 皮膚の構造と機能 生体の防御機構 体温とその調節	講義		能間
	2	運動器系① 骨格系と筋系各論	講義		能間
	3	運動器系② 筋の収縮 運動と代謝	講義		能間
	4	呼吸器系① 呼吸器系の構造と機能①	講義		能間
	5	呼吸器系② 呼吸器系の構造と機能② 呼吸のプロセス	講義		能間
	6	呼吸器系③ 呼吸器系の病態生理	講義		能間
	7	免疫系 免疫系のしくみ	講義		能間
	8	血液① 血液の機能と成分 血球とその機能	講義		能間
	9	血液② 血液型と輸血	講義		能間
	10	循環器系① 循環器系の構成	講義		能間
	11	循環器系② 血液の循環の調節	講義		能間
	12	循環器系③ リンパとリンパ管	講義		能間
	13	消化器系① 口腔・咽頭・食道の構造と機能	講義		能間
	14	消化器系② 腹部消化管の構造と機能	講義		能間
15	消化器系③ 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	講義	能間		
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である 自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい				

科目:解剖生理学Ⅲ (泌尿器、内分泌、神経・感覚器、生殖器)					
分野:専門基礎分野		【 1単位:30時間		授業回数: 15回 】	
担当教員	能間 国光	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人体の正常な構造とはたらきを正確に理解することで疾病・障害の成り立ちが理解できる。 解剖生理学Ⅰに引き続き、より発展的、生理学的知識を深める。				
到達目標	1.ホルモンの分泌器官とはたらきを説明できる 2.腎・泌尿器の構造と体液の調整と尿の生成、男性生殖器の構造と機能を理解する 3.女性生殖器の構造と機能について理解し胎児の発生、人間の成長と老化について理解する 4.神経系、感覚器の構造を理解し神経と運動の関連について学び、外部環境からの情報の受容と処理について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	内分泌系① 自律神経の構造と機能	講義	教科書対応部分を読んでおく	能間
	2	内分泌系② 内分泌系による調節	講義		能間
	3	内分泌系③ 全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義		能間
	4	内分泌系④ ホルモン分泌の調節	講義		能間
	5	泌尿器系① 腎臓の構造と機能	講義		能間
	6	泌尿器系② 排尿路の構造	講義		能間
	7	泌尿器系③ 尿の貯蔵と排尿	講義		能間
	8	泌尿器系④ 体液の調節	講義		能間
	9	神経系① 神経系の構造と機能	講義		能間
	10	神経系② 神経系の構造と機能	講義		能間
	11	神経系③ 脊髄と脳	講義		能間
	12	神経系④ 脊髄と脳	講義		能間
	13	感覚系 各感覚機能としくみ	講義		能間
	14	生殖器① 男性生殖器	講義		能間
15	生殖器② 女性生殖器 成長と老化	講義	能間		
使用テキスト等	系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能① 【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ	解剖生理学は全ての科目の基礎となる重要な科目である 自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい				

分野: 専門基礎分野 科目: 生化学 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	佐藤 秀明 杉島 正一 原田 二郎 塚口 舞	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	化学の基礎知識をもとに生体の恒常性を保ち、生命が成り立っている仕組みを理解し、健康や疾病に関する観察力を養う。				
到達目標	1. 化学の基礎を理解し、生体の生命維持、活動に必要な生体物質の構造と機能を説明できる 2. 栄養素の消化・吸収と代謝について説明できる 3. 代謝異常による疾病について説明できる 4. 遺伝情報とその発現、遺伝子異常による疾病について説明できる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	生化学を学ぶための基礎知識	講義	教科書第1章を音読	杉島
	2	代謝の基礎と酵素・補酵素	講義	教科書第2章を音読	杉島
	3	酵素の反応速度と阻害、糖質の構造と機能(1)	講義	教科書第2,3章を音読	杉島
	4	糖質の構造と機能(2)、糖質代謝(1)	講義	教科書第3,4章を音読	杉島
	5	糖質代謝(2)	講義	教科書第4章を音読	杉島
	6	脂質の構造と機能、脂質代謝(1)	講義	教科書第5,6章を音読	佐藤
	7	脂質代謝(2)、タンパク質の構造と機能(1)	講義	教科書第6,7章を音読	佐藤
	8	タンパク質の構造と機能(2)、タンパク質代謝(1)	講義	教科書第7,8章を音読	佐藤
	9	タンパク質代謝(2)、ポルフィリン代謝と異物代謝	講義	教科書第8,9章を音読	佐藤
	10	遺伝子と核酸	講義	教科書第10章を音読	原田
	11	遺伝子の複製・修復・組換え	講義	教科書第11章を音読	原田
	12	転写	講義	教科書第12章を音読	原田
	13	翻訳と翻訳後修飾	講義	教科書第13章を音読	原田
	14	シグナル伝達	講義	教科書第14章を音読	塚口
15	がん	講義	教科書第15章を音読	塚口	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験・小テスト・演習問題・レポート				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 栄養学

【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	作間 理恵子 柏木 香菜子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間にとっての栄養について理解し、健康を維持できない状態の対象に生活全般からの保健指導、栄養指導の必要性を考えることができる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 適切な栄養摂取、栄養素のバランス、栄養素の過不足などによる身体変化についてアセスメントできる 病院食の特徴について説明できる ライフステージにおける栄養と栄養食事療法について学ぶ 栄養食事療法におけるチーム医療の実際が理解できる 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	人間栄養学と看護	講義		柏木
	2	栄養素の種類とはたらき	講義		柏木
	3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	講義		柏木
	4	体内のエネルギーバランス	講義		柏木
	5	食品と食事	講義		作間
	6	栄養ケアマネジメント	講義		作間
	7	ライフステージと栄養①	講義		作間
	8	ライフステージと栄養②	講義		作間
	9	臨床栄養① 栄養管理	講義		柏木
	10	臨床栄養② 低栄養・循環器	講義		作間
	11	臨床栄養③ 消化器疾患～腎臓疾患	講義		作間
	12	臨床栄養④ 呼吸器～摂食・嚥下	講義		作間
	13	臨床栄養⑤ 対象者別栄養管理	講義		柏木
	14	臨床栄養⑥ 病期別栄養管理	講義		柏木
15	臨床栄養⑦	講義		柏木	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	筆記試験、演習レポート				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野 科目:病理学

【 1単位:15時間 授業回数:8回 】

担当教員	新坂 幸大	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	健康から疾病に至る生体に共通する病理的变化や発生機序、プロセスについて学ぶ。				
到達目標	1. 生体のシステムと病気、生命現象を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	病理学で学ぶこと	講義		新坂
	2	細胞・組織の損傷と修復、炎症	講義		新坂
	3	免疫、移植と再生医療・感染症	講義		新坂
	4	循環障害	講義		新坂
	5	代謝異常	講義		新坂
	6	老化と死	講義		新坂
	7	先天異常と遺伝性疾患	講義		新坂
	8	腫瘍	講義		新坂
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野		科目 : 疾病論 I (呼吸器)		【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】	
担当教員	宮川 洋介	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 呼吸器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について学ぶ。				
到達目標	1. 呼吸器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	解剖と生理	講義		宮川
	2	症候	講義		宮川
	3	検査	講義		宮川
	4	治療と処置・呼吸リハビリテーション	講義		宮川
	5	呼吸不全・酸素化障害・換気障害	講義		宮川
	6	肺循環障害・呼吸器感染症	講義		宮川
	7	肺がん	講義		宮川
	8	免疫アレルギー・胸膜疾患	講義		宮川
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 呼吸器【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能 ①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学 【MCメディカ出版】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野						科目: 疾病論Ⅱ (循環器、血液・造血器)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	本田順一 川崎友裕 折田義也 浅田哲史 平井啓佑 古賀清和 原口和樹 福岡良太 副嶋利弥 梅地恭子			年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習		
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 循環器疾患、血液・造血器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について学ぶ。								
到達目標	1. 循環器疾患、血液・造血器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。								
授業計画	回	授業内容			授業方法	事前学習等	担当		
	1	循環器の構造と機能			講義		川崎		
	2	症状とその病態生理			講義		川崎		
	3	検査と治療			講義		浅田		
	4	心不全			講義		平井		
	5	不整脈			講義		折田		
	6	不整脈の治療			講義		折田		
	7	虚血性心疾患			講義		川崎		
	8	弁膜症			講義		福岡		
	9	心膜炎・心筋疾患			講義		副嶋		
	10	血圧異常・肺性心			講義		原口		
	11	動脈系・静脈系疾患			講義		梅地		
	12	先天性心疾患			講義		古賀(清)		
	13	血液の機能と造血のしくみ 病態生理 検査と治療			講義		本田		
	14	主な疾病と治療① 赤血球の異常 白血球の異常			講義		本田		
15	主な疾病と治療② 血小板の異常 凝固系の異常			講義		本田			
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 循環器 【医学書院】 系統別看護学講座 専門分野 血液・造血器 【医学書院】								
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学								
評価方法	終講試験(筆記試験)								
学生へのメッセージ									

分野: 専門基礎分野 科目: 疾病論Ⅲ (消化器、腎・泌尿器) 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	中村 弘毅 馬場 活嘉 池添 清彦 松本 有里子 徳田 雄治 岩田 明斗	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害、とその回復過程について学ぶ。 消化器疾患、腎・泌尿器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について学ぶ。				
到達目標	1. 消化器疾患、腎・泌尿器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	症状とその病態生理 検査と治療①	講義	第3章p40～56	中村
	2	検査と治療②	講義	第4章 p62～101	中村
	3	検査と治療③	講義	第4章 p103～128	中村
	4	疾患の理解① 食道の疾患	講義	第5章 p133 ～138	中村
	5	疾患の理解② 胃と十二指腸疾患	講義	第5章 p144～156	中村
	6	疾患の理解③ 肝臓・胆嚢の疾患	講義	p205～237	馬場
	7	疾患の理解④ 肝臓・胆嚢の疾患 膵臓の疾患と治療、急性膵炎	講義	p238～254	馬場
	8	疾患の理解⑤ 腸および腹膜疾患	講義	p163～181	池添
	9	疾患の理解⑥ 腸および腹膜疾患 腹部外傷・寄生虫疾患	講義	p185～204 p255～256	池添
	10	腎の構造と機能 検査と治療・処置	講義		松本
	11	腎臓の疾患と看護① 腎不全・透析	講義		松本
	12	腎臓の疾患と看護② 糸球体疾患	講義		松本
	13	腎臓の疾患と看護③ 全身性疾患に伴う腎障害	講義		松本
	14	泌尿器疾患総論	講義		徳田
15	泌尿器疾患	講義		岩田	
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 腎・泌尿器 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 疾病論Ⅳ(内分泌・代謝) 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】

担当教員	川崎 英二 廣松 雄治	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害、とその回復過程について学ぶ。 内分泌・代謝疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について学ぶ。				
到達目標	1. 内分泌・代謝疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	内分泌総論	講義		廣松
	2	内分泌各論(甲状腺・下垂体)	講義		廣松
	3	内分泌疾患各論	講義		廣松
	4	内分泌検査	講義		廣松
	5	代謝疾患の理解	講義		川崎
	6	糖代謝異常①	講義		川崎
	7	糖代謝異常②	講義		川崎
	8	脂質異常症・肥満	講義		川崎
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 内分泌・代謝 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学 健康の回復と看護②栄養代謝機能障害				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野		科目: 疾病論V (運動器、脳・神経)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	二之宮 謙一 牟田口 滋	一ツ松 勲 澁谷 統壽 石堂 克哉	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態 講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常や患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 運動器、脳・神経系に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について学ぶ。				
到達目標	1. 運動器疾患、脳・神経疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	運動器のしくみとその異常 症状と病態生理・主な診断と検査	講義		牟田口
	2	外傷性の運動器疾患 骨折	講義		牟田口
	3	運動器 脱臼、捻挫および打撲	講義		牟田口
	4	運動器 神経の損傷	講義		牟田口
	5	運動器 炎症、代謝、腫瘍、その他の疾患	講義		二之宮
	6	運動器 筋・腱、靭帯などの損傷、先天性疾患	講義		二之宮
	7	運動器 脊椎の疾患	講義		二之宮
	8	運動器 運動器不安定症	講義		牟田口
	9	脳・神経系の構造と機能	講義		一ツ松
	10	症状と病態生理 検査・診断と治療・処置	講義		石堂
	11	疾患の理解① 脳神経疾患、脳血管障害、頭部外傷	講義		一ツ松
	12	疾患の理解② 脳腫瘍(良性脳腫瘍、悪性脳腫瘍)、頭痛	講義		石堂
	13	疾患の理解③ 意識障害、生体リズム、認知機能障害、感覚障害	講義		澁谷
	14	疾患の理解④ 免疫性神経疾患 脊髄から末梢神経疾患、神経・筋疾患	講義		澁谷
15	疾患の理解⑤ パーキンソン病、アルツハイマー病、他 変性疾患	講義		澁谷	
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 脳・神経【医学書院】 系統別看護学講座 専門分野 運動器【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野		科目:疾病論VI (女性生殖器、アレルギー・感染症、放射線)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	菅沼 明彦 蓮尾 友里 中尾 佳史 馬場 美樹 小野 研 甘井 慎史	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 アレルギー疾患、膠原病、感染症の主な症状、病態生理、検査、治療について理解し、観察力・判断力を養う。				
到達目標	1. アレルギー、膠原病、感染症に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。 2. 女性生殖器疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。 3. 放射線治療の概要と画像診断の種類、放射線の人体への影響と防護について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	アレルギー・膠原病① 免疫機能障害を学ぶための基礎知識	講義		蓮尾
	2	アレルギー・膠原病② 免疫機能の異常でみられる症候と看護	講義		蓮尾
	3	免疫機能の障害① 自己免疫疾患(膠原病を含む)	講義		蓮尾
	4	免疫機能の障害② アレルギー性疾患 アナフィラキシーショック・食物アレルギー・薬物アレルギー 免疫不全	講義		蓮尾
	5	感染症① 感染症を学ぶための基礎知識	講義		菅沼
	6	感染症② 感染症と看護	講義		菅沼
	7	感染症③ 感染症と看護	講義		菅沼
	8	女性生殖器疾患を学ぶための基礎知識 診察・検査と治療と処置	講義		中尾
	9	女性生殖器の疾患と看護① 無月経 子宮筋腫	講義		中尾
	10	女性生殖器の疾患と看護② 悪性腫瘍	講義		中尾
	11	女性生殖器の疾患と看護③ 卵巣疾患 婦人科感染症	講義		中尾
	12	乳腺外科疾患	講義		馬場
	13	画像診断	講義		小野
	14	放射線治療	講義		小野
15	放射線医学	講義		甘井	
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 アレルギー 膠原病 感染症【医学書院】 系統別看護学講座 専門分野 女性生殖器【医学書院】 系統別看護学講座 別巻 臨床放射線医学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 疾病論Ⅶ (皮膚、眼、耳鼻咽喉、歯・口腔) 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	山口 隆広 林 亮 鈴木 久美子 豊福 司生	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護を行うための基礎知識として、病気が引き起こす異常やその異常が患者に与える苦痛・障害とその回復過程について学ぶ。 皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患の主な症状、病態生理、検査、治療について理解し、観察力・判断力を養う。				
到達目標	1. 皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患に伴う主な症状と病態生理、検査、治療について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	皮膚の疾患を学ぶための基礎知識① 皮膚の構造と機能	講義		山口
	2	皮膚の疾患を学ぶための基礎知識② 皮膚疾患の主な治療・処置 皮膚の疾患と看護①	講義		山口
	3	皮膚の疾患と看護② 疥癬 褥瘡	講義		山口
	4	皮膚の疾患と看護③ 透析患者の皮膚の症状	講義		山口
	5	眼の疾患を学ぶための基礎知識① 眼の構造と機能 眼の異常でみられる症候	講義		林
	6	眼の疾患を学ぶための基礎知識② 眼科で行われる検査 眼疾患の主な治療・処置	講義		林
	7	眼の疾患と看護①	講義		林
	8	眼の疾患と看護②	講義		林
	9	耳鼻咽喉の疾患を学ぶための基礎知識 耳鼻咽喉の構造と機能 耳鼻咽喉の異常でみられる症候 耳鼻咽喉科で行われる検査	講義		鈴木
	10	副鼻腔・舌	講義		鈴木
	11	咽喉頭、唾液腺	講義		鈴木
	12	歯・口腔の疾患を学ぶための基礎知識 歯・口腔の構造と機能	講義		豊福
	13	歯科 疾患・症状	講義		豊福
	14	歯科 歯・口腔疾患患者の看護	講義		豊福
15	歯科 口腔ケア	講義		豊福	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[12]皮膚【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13]眼【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14]耳鼻咽喉【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[15]歯・口腔				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野		科目: 薬理学		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	安田 和樹 坂本 健太郎 金子香里 山口 紗代 木原 千佳	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	薬物の種類、作用機序、保管方法を理解し、治療に使用される薬物が人体に及ぼす影響を理解するための基礎知識を学ぶ。				
到達目標	1. 薬物療法のしくみを理解する。 2. 薬剤の安全な使用(効果的な活用と薬害の防止)について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	薬理学を学ぶにあたって 薬理学の基礎知識	講義	P.4-13 P.16-62	山口
	2	末梢での神経活動に作用する薬物	講義	P.146-161	木原
	3	中枢神経系に作用する薬物①	講義	P.166-194	金子
	4	中枢神経系に作用する薬物②	講義	P.166-194	金子
	5	物質代謝に作用する薬物 生殖器系に作用する薬物	講義	P.260-271 P.251-256	金子
	6	免疫治療薬 抗アレルギー薬・抗炎症薬	講義	P.118-127 P.130-143	坂本
	7	循環器系に作用する薬物①	講義	P.198-238	山口
	8	循環器系に作用する薬物②	講義	P.198-238	山口
	9	呼吸器系に作用する薬物	講義	P.240-244	坂本
	10	消化器系に作用する薬物	講義	P.244-250	坂本
	11	抗がん薬	講義	P.104-115	坂本
	12	抗感染症薬	講義	P.68-101	安田
	13	輸液製剤・輸血剤	講義	P.314-324	木原
	14	皮膚科用薬・眼科用薬 漢方薬 消毒薬	講義	P.276-285 P.298-303 P.306-312	金子
15	救急の際に使用される薬物	講義	P.288-295	安田	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	イラストでまなぶ薬理学 第2版【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野

科目: 微生物学

【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	原 好勇 黒岩 晃	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	微生物の特徴と生体に及ぼす影響および感染に対する生体の防御反応を理解する。				
到達目標	1. ヒトに重要な影響を与える微生物の特徴を理解する。 2. 感染症について学び、関連する疾病の理解と感染予防の知識を深める。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	微生物学とは(序論)	講義	教科書の 該当項目を 予習しておく	原
	2	感染と発症	講義		原
	3	感染と免疫	講義		原
	4	細菌の性質と生きるための戦略①	講義		黒岩
	5	細菌の性質と生きるための戦略②	講義		黒岩
	6	近ごろ話題の細菌たち①	講義		黒岩
	7	近ごろ話題の細菌たち②	講義		黒岩
	8	真菌の性質と生きるための戦略	講義		黒岩
	9	原虫の性質と生きるための戦略	講義		黒岩
	10	感染症からヒトを守る戦略 微生物の利用	講義		黒岩
	11	ウイルス感染症(1) 総論と呼吸器ウイルス	講義		原
	12	ウイルス感染症(2) 発疹症(麻疹、ヘルペス等)	講義		原
	13	ウイルス感染症(3) AIDS、昆虫・動物媒介性	講義		原
	14	ウイルス感染症(4) 下痢症、肝炎、出血熱、プリオン病	講義		原
15	感染症の予防・治療法	講義	原		
使用テキスト等	イラストでわかる微生物学入門 病原微生物の感染のしくみ 【南山堂】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験、受講状況、レポートなど)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 看護につなぐ 【 1単位: 30 時間 授業回数: 15回 】					
担当教員	池西 静江 宮崎 亜矢子 高園 真理子 大久保純子 樋口 美樹	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人間の日常生活行動において、身体の構造と機能をどのように使っているのかを理解する。さらに、障害されたときに身体はどのように変化し、生活に影響していくのかを理解する。				
学生の到達目標	1. 人間は、どのような身体のしくみで生きて、日常生活を営んでいるのかを理解し、説明できる。 2. どのような病態が日常生活行動に影響を与えるかを説明することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	何のための生活行動か	講義		池西
	2	ホメオスターシス維持のための物質の流通	講義 GW		池西
	3	ホメオスターシス維持のための調節機構	講義 GW		池西
	4	人が動く・休むということ①	講義 GW		高園
	5	人が動く・休むということ②	講義 GW		高園
	6	人が動く・休むということ③	講義 GW		高園
	7	人が食べるということ①	講義 GW		宮崎
	8	人が食べるということ②	講義 GW		宮崎
	9	人が食べるということ③	講義 GW		宮崎
	10	人が排泄ということ①	講義 GW		樋口
	11	人が排泄ということ②	講義 GW		樋口
	12	人が排泄ということ③	講義 GW		樋口
	13	人が身体を清潔にということ①	講義 GW		大久保
	14	人が身体を清潔にということ②	講義 GW		大久保
15	まとめ(TBL) 30点	講義 GW		樋口	
使用テキスト等	看護につなぐ人体の構造と機能【照林社】 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学【医学書院】				
主たる参考図書・文献	看護学生スタディガイド2027【照林社】				
評価方法	ワークシート、ポストテスト、まとめ(TBL)で総合的に評価する				
学生へのメッセージ	すべての講義が評価の対象になります。休まないようにしましょう。				

分野:専門基礎分野 科目:社会福祉 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	中野 繁広	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	国民の最低限度の生活を保障する社会保障制度と、健康で自立した生活を支援するための社会福祉の制度について学ぶ。 少子、超高齢者社会を迎える我が国の今後の課題と展望を学ぶ。				
到達目標	1. 社会保障や社会福祉の各制度と、相互連携の重要性を理解する。 2. 対象を総合的に支えるための方法を理解する。 3. 社会福祉における看護師の役割と専門職種との連携を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	現代社会と社会福祉・社会保障 暮らしと社会福祉・社会保障①	講義	社会保障に関連する法律を調べる	中野
	2	暮らしと社会福祉・社会保障②	講義	今の自分と、両親世代とのライフスタイルの変化について考えてくる	中野
	3	暮らしと社会福祉・社会保障③	講義		中野
	4	福祉の実践・資源の活用	講義		中野
	5	ライフサイクルと社会福祉①	講義		中野
	6	ライフサイクルと社会福祉②	講義		中野
	7	ライフサイクルと社会福祉③	講義		中野
	8	ライフサイクルと社会福祉③	講義	生活保護に関する新聞記事の内容を要約する	中野
	9	生活保護	講義		中野
	10	社会保障(社会保険)制度①	講義		中野
	11	社会保障(社会保険)制度②	講義		中野
	12	社会保障(社会保険)制度③	講義	介護保険制度に関する新聞記事の内容を要約する	中野
	13	社会保障(社会保険)制度④	講義		中野
	14	地域福祉の推進	講義		中野
15	社会福祉のまとめ・試験対策	講義		中野	
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉【医学書院】				
主たる参考図書・文献	国民衛生の動向【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 看護関係法令 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】

担当教員	田中 圭子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	国民の健康を守り、生命に直接関係する医療人として、与えられた責務を正しく遂行するための保健医療福祉制度に関する法律及び看護師に必要な法令を学ぶ。				
到達目標	1. 看護関係法令および厚生行政の仕組みについて理解する 2. 法と私たちの日常、法と看護について、関連付けて考えることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	第1章 法の概念 第2章 看護法① 保健師助産師看護師法	講義	事前に教科書を読んでくること	田中
	2	第2章 看護法② 保健師助産師看護師法 看護師等人材確保に関する法律	講義		田中
	3	第3章 医事法 医療法 医療を支える資格 医療を支える法	講義 GW		田中
	4	第4章 保健衛生法	講義		田中
	5	第5章 薬務法	講義		田中
	6	第6章 社会保険法	講義		田中
	7	第7章 福祉法	講義		田中
	8	第8章 労働法と社会基盤整備 第9章 環境法	講義		田中
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	看護六法 看護行政研究会編集 【新日本法規】				
評価方法	終講試験、受講態度、課題レポート				
学生へのメッセージ	法令は、生活や業務の基本となる重要な科目である。 自ら興味をもって積極的に学ぶ姿勢を身につけてほしい。				

分野: 専門基礎分野 科目: 公衆衛生 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	糸瀬 孝子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	公衆衛生の幅広い学問体系および、個人や家族から地域・国レベルまでのさまざまな健康支援のあり方を学ぶ。				
到達目標	1. ヘルスプロモーションに基づくさまざまな公衆衛生活動を理解する。 2. 学生自身の健康とともに、総合的な健康づくりを考える。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	公衆衛生の歴史、公衆衛生システムと政策	講義		糸瀬
	2	公衆衛生の活動対象	講義		糸瀬
	3	公衆衛生のしくみ	講義		糸瀬
	4	集団の健康をとらえるための手法 疫学・保健統計	講義		糸瀬
	5	環境と健康	講義		糸瀬
	6	感染症とその予防対策	講義		糸瀬
	7	国際保健	講義		糸瀬
	8	地域における公衆衛生の実践① 公衆衛生看護とは 母子保健	講義		糸瀬
	9	地域における公衆衛生の実践② 成人保健	講義		糸瀬
	10	地域における公衆衛生の実践③ 高齢者保健	講義		糸瀬
	11	地域における公衆衛生の実践④ 精神保健 歯科保健	講義		糸瀬
	12	地域における公衆衛生の実践⑤ 障害者保健・難病保健	講義		糸瀬
	13	学校と健康	講義		糸瀬
	14	職場と健康	講義		糸瀬
15	健康危機管理・災害保健	講義		糸瀬	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生【医学書院】 国民衛生の動向【厚生統計協会】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生【メディカ出版】 シンプル衛生公衆衛生学【南江堂】 など				
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野:専門基礎分野 科目:総合医療論 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	林 明宏 加藤 光樹	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	医療の歴史と現代の医療、我々の日常生活と密着した医療のあり方について学び、医療全般の概要をとらえる。				
到達目標	1. いのちと健康に向き合う医療の原点について理解する。 2. わが国の医療業界におけるさまざまな課題を考えることができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	総合医療論 序章 第1章 医療と看護の原点―病と癒し	講義	自分や家族・知人の病気体験から感じたことを想起してくる	林
	2	第2章 医療の歩みと医療観の変遷	講義		林
	3	第3章 私たちの生活と医療	講義	「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」の具体的内容を調べてくる	林
	4	第4章 科学の技術進歩と現代医療の最前線	講義		林
	5	現代医療の問題点	講義		林
	6	ACPと臓器移植	講義		林
	7	医療を見つめ直す新しい視点 保健・医療・介護・福祉の近未来像①	講義	新聞の医療に関する記事を要約してくる	加藤
8	保健・医療・介護・福祉の近未来像②	講義	加藤		
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 総合医療論【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野 医療概論【医学概論】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門基礎分野 科目: 暮らしを支えるチームケア 【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】

担当教員	西 恵美子 福田 早苗	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	他職種の学生と共に学び合う授業を通して、対象の健康と生活(暮らし)を支えるために多職種と連携・協働できる能力を養うとともに、保健・医療・介護・福祉チームにおける看護師の役割・責務・専門性を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師の役割と責務、多職種の役割と責務およびお互いの専門性を共有する。 2. 多職種間のコミュニケーション能力を身につける。 3. それぞれの専門性を活かし、対象の暮らしに沿った退院支援を共に考える。 4. 対象にとっての多職種連携・協働の意義を考える。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	科目の意義、具体的な進め方、評価方法 看護職における責任と役割 多職種連携・協働 チーム医療	講義 事例提示 グループ ワーク		西 福田
	2	【協働学習①】 多職種協働とは チームビルディング 事例検討	講義 協働学習	場所: 久留米リハビリテーション 学院	西 福田
	3				
	4	【協働学習②】 事例検討 まとめ 発表準備	協働学習	場所: 久留米リハビリテーション 学院	西 福田
	5				
	6	【協働学習③】 発表	協働学習 発表	場所: 久留米リハビリテーション 学院	西 福田
	7				
8	まとめ			西 福田	
使用テキスト等	配布資料				
主たる参考図書・文献					
評価方法	グループワーク(協働学習準備、参加状況、発表など) 出席 レポート				
学生へのメッセージ	久留米リハビリテーション学院、八女筑後看護専門学校の学生の皆さんとの協働学習を楽しみましょう				

分野: 専門基礎分野: 看護の場を知る

【 1単位: 15 時間 授業回数: 8回 】

担当教員	川原 千恵美 宮崎 亜矢子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	多様化する看護サービス提供の場を体系的に学び、それぞれの場における看護師の役割を学ぶ。また、看護師としての将来像を描く。				
学生の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 多様な看護サービス提供の場とその特徴が理解できる 看護サービス提供の場における看護師の役割を理解できる 将来の看護師像や課題を言語化できる 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	オリエンテーション ・看護師になろうと思ったきっかけ ・あなたが思う看護師のイメージ ・看護師が活躍する場はどんなところか ・看護の対象はどんな人か	GW		川原 宮崎
	2	看護師が活躍する場、看護師の役割の実際	GW 発表		川原 宮崎
	3	施設見学準備 施設見学オリエンテーション	講義 GW		川原 宮崎
	4	施設見学(半日) ・施設のオリエンテーション(概要) ・看護師に同行(見学)	施設見学		川原 宮崎
	5	・見学したことについての質問	施設見学		川原 宮崎
	6	施設見学のまとめ	GW		川原 宮崎
	7	施設見学発表①	発表		川原 宮崎
8	施設見学発表②	発表		川原 宮崎	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅰ看護学概論 基礎看護学[1]【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 看護学概論【メディカ出版】				
評価方法	事前課題、課題レポート、GW参加状況などで総合的に評価する				
学生へのメッセージ	看護サービスが提供される場に行きます。積極的に質問を行い、看護師の役割やそれぞれの場での対象へ提供される看護を見てきましょう。 また、グループワークでは自分の考えを人に伝えられるように、自分の意見をもって授業に臨みましょう。				

専門分野

分野:専門分野		科目:看護学概論		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	西 恵美子	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護の歴史的背景と理論家や看護職能集団による看護の定義を学び、看護の本質とは何かを考える。さらに看護の対象や看護の場、看護倫理、看護システム、看護の国際化を学び、実際の看護活動や今後の看護のあり方について考える。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の概念・役割・機能、看護活動の場について理解する。 2. 看護の歴史的背景を理解する。 3. 看護の対象である人間を理解する。 4. 保健医療福祉チームにおける看護の機能と役割を理解する。 5. 医療の場における倫理的配慮の必要性を知り、行動できる。 6. 看護の国際化を学び、今後の看護のあり方について考えることができる。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	看護とは① ナイチンゲールを知る ー看護の原点ー	講義 グループワーク	ナイチンゲールの『看護覚え書』を読んでもくる	西
	2	看護とは② ナイチンゲールを知る ー看護の本質を考えるー 現代看護との共通点を考える	グループワーク 発表	事前課題 ワーク	西
	3	看護を学ぶにあたって 看護師とは何をやる職業なのだろうか ー事例で考えるー	講義 グループワーク	事前課題 ワーク	西
	4	看護の対象の理解① 「こころ」と「からだ」を知る 生涯発達しつづける存在 人間の「暮らし」の理解	講義 グループワーク	事前課題 ワーク	西
	5	看護の対象の理解② 「こころ」と「からだ」を知る 生涯発達しつづける存在 人間の「暮らし」の理解	グループワーク	事前課題 ワーク	西
	6	看護の対象の理解③ 対象理解に必要な視点・知識を整理し患者理解を深める	グループワーク 発表	事前課題 ワーク	西
	7	看護の対象の理解④ 患者役を通して、対象理解を深める	演習	事前課題 ワーク	西
	8	国民の健康状態と生活	講義	事前課題 ワーク	西
	9	看護の提供者	講義 グループワーク	事前課題 ワーク	西
	10	看護における倫理①	グループワーク 発表	事前課題 ワーク	西
	11	看護における倫理②	グループワーク 発表	事前課題 ワーク	西
	12	看護の提供のしくみ① 「看護の場を知る」の学びから、看護の提供のしくみを考える	講義 グループワーク	「看護の場を知る」の資料を準備する 事前課題 ワーク	西
	13	看護の提供のしくみ② 「看護の場を知る」の学びから、看護の提供のしくみを考える	講義 グループワーク	「看護の場を知る」の資料を準備する 事前課題 ワーク	西
	14	看護の提供のしくみ③ 「看護の場を知る」の学びから、看護の提供のしくみを考える	講義 グループワーク	「看護の場を知る」の資料を準備する 事前課題 ワーク	西
15	広がる看護の活動領域	グループワーク 講義		西	
使用テキスト等	系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学1 医学書院 新版 ナイチンゲールの『看護覚え書』 西京社 看護がみえるvol⑤ 対象の理解 I				
主たる参考図書・文献	看護覚え書～看護であること 看護でないこと～ 現代社 君はどんな看護師になるのだろうか 医学書院 系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院				
評価方法	終講試験 事前課題、レポート、受講態度				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野		科目:看護理論		【 1単位: 15 時間 授業回数: 8回 】		
担当教員	西 恵美子	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習	
授業の概要	看護の見方、考え方の基盤として看護理論全般について学習し、代表的な理論家の理論内容を看護実践へ活用する方法を学ぶ 看護理論とは何か、理論構築の過程など理論学習に必要な概念や、それぞれの理論家の看護のメタパラダイムや理論内容について講義や発表を組み合わせる。					
学生の到達目標	1. 看護理論を学ぶ目的・意義が理解できる。 2. 看護理論を実践へ活用する方法について理解する。 3. 看護理論を学習することにより、看護の見方・考え方の基礎を習得する。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	看護とは何か、なぜ理論が必要か、看護理論の歴史と変遷、理論の種類	講義 個人ワーク	事前課題 「私の看護観」	西	
	2	ナイチンゲールの看護論 「看護覚え書」のふりかえり 環境理論(看護)	講義 個人ワーク グループワーク	1年次の理論家 調べ資料・ワーク 等を準備する	西	
	3	ヘンダーソン ニード論	講義 個人ワーク グループワーク	事前課題ワーク	西	
	4	オレム セルフケア不足理論	講義 個人ワーク グループワーク	事前課題ワーク	西	
	5	ペブロウ 対人間関係理論	講義 個人ワーク グループワーク	事前課題ワーク	西	
	6	その他の主要な理論家	講義 グループワーク	事前課題ワーク	西	
	7	理論と実践の統合① 実習で実践した看護と看護理論の活用	個人ワーク グループワーク		西	
	8	理論と実践の統合② 実習で実践した看護と看護理論の活用	グループワーク 発表		西	
使用テキスト等						
主たる参考図書・文献	看護学概論【医学書院】 新版 ナイチンゲールの『看護覚え書』【西東社】 看護の基本となるもの【日本看護協会】 ペブロウ人間関係の看護論【医学書院】 オレムのセルフケア不足理論【照林社】 看護が見えるvol⑤ 対象の理解					
評価方法	ワーク、レポート等の課題提出、ポストテスト、出席状況、受講態度					
学生へのメッセージ						

分野: 専門分野						科目: 生活援助技術 I (看護技術とは 環境)		【1単位:15時間		授業回数: 8回】	
担当教員	福田 早苗		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習				
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学習する。										
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を習得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。										
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当						
	1	看護技術とは何か	講義 GW	テキストを 読んでおく							
	2	快適な環境をつくる技術 (日常生活と病床生活の違い、最適な環境とは)	講義 GW								
	3	一般的な病床と物品の名称 快適な療養環境とは 安全な療養環境とは	講義 GW								
	4	ベッドメイキングとリネン交換について 看護師が行う意義 リネンの畳み方や準備	講義 GW								
	5	ベッドメイキング演習	演習								
	6	環境整備・ベッドメイキング演習	演習								
	7	臥床患者のリネン交換 演習	演習								
	8	臥床患者のリネン交換 演習	演習								
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】 看護がみえるvol.1 基礎看護技術【メディックメディア】										
主たる参考図書・文献											
評価方法	終講試験(筆記試験・演習への取り組み・レポート提出・出席状況など総合的に判断します)										
学生へのメッセージ											

分野:専門分野 科目:生活援助技術Ⅱ
(清潔・衣生活)

【1単位:30時間 授業回数:15回】

担当教員	樋口 美樹	年次・開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。					
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	清潔の援助の基礎知識 ①皮膚・粘膜の構造と機能 ②口腔内の構造と機能 ③清潔援助の効果 ④患者の状態に応じた援助の決定と留意点	講義 GW	講義前に教科書を読んでくる	樋口	
	2	清潔の援助の実際① 入浴・シャワー浴・全身清拭	講義 GW		樋口	
	3	清潔の援助の実際② 洗髪・手浴・足浴	講義 GW		樋口	
	4	清潔の援助の実際③ 陰部洗浄・整容・口腔ケア	講義 GW		樋口	
	5	病床での衣生活援助 援助の基礎知識	講義 GW		樋口	
	6	寝衣交換の援助 (点滴・ドレーン等を留置していない患者の寝衣交換)	演習		樋口	
	7	清潔援助の実際① (整容)	演習	演習前に看護技術をまとめておく	樋口	
	8	清潔援助の実際② (全身清拭)	演習		樋口	
	9				樋口	
	10	清潔援助の実際③ (陰部洗浄)	演習		樋口	
	11	清潔援助の実際④ (口腔ケア)	演習		樋口	
	12	清潔援助の実際⑤ (手浴)	演習		樋口	
	13	清潔援助の実際⑥ (足浴)	演習		樋口	
	14	清潔援助の実際⑦ (洗髪)	演習		樋口	
15	樋口					
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 【メディックメディア】					
主たる参考文献・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ【メディカ出版】					
評価方法	技術試験、終講試験(筆記試験・小レポート)					
学生へのメッセージ	解剖生理学の復習をして臨んでください 基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前には課題の提示をします					

分野:専門分野 科目:生活援助技術Ⅲ
(活動・休息)

【1単位:15時間 授業回数:8回】

担当教員	大久保 純子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学習する。				
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を取得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	安静かつ快適さを確保する技術の基礎知識 活動・運動を支援する技術の基礎知識(1) 生理的メカニズム ニーズのアセスメント 動かないことの危険性	講義 演習	テキストを 読んでくる	大久保
	2	援助の実際① ポジショニング 体位変換	演習	テキストを 読んでくる	
	3	援助の実際② 立位と歩行 ストレッチャーへの移送	講義 演習	テキストを 読んでくる	
	4	援助の実際② 立位と歩行 ストレッチャーへの移送	演習	テキストを 読んでくる	
	5	活動・運動を支援する技術の基礎知識(2) 援助の実際③ 車椅子移乗 車椅子介助	講義 演習	テキストを 読んでくる	
	6	援助の実際③ 車椅子移乗 車椅子介助	演習	テキストを 読んでくる	
	7	睡眠・休息を促す基礎技術① 意義 生理的メカニズム ニーズのアセスメント 睡眠障害	講義 ワーク	テキストを 読んでくる	
	8	睡眠・休息を促す基礎技術② 援助の実際 まとめ	講義 演習	テキストを 読んでくる	
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】 看護がみえるvol.1 基礎看護技術【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験・課題レポート・態度)				
学生へのメッセージ	・基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行うこと ・演習前に課題の提示をすることがありますので、課題を行い授業に臨むこと				

分野:専門分野 科目:生活援助技術Ⅳ(食事・排泄)

【1単位:30時間 授業回数:15回】

担当教員	樋口 美樹		年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	基本的な援助技術を科学的根拠に基づき、安全・安楽かつ効果的に実践できるように学修する。					
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を修得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	食事・栄養を促す技術① 食事と栄養に関する基礎知識	講義	講義前に 教科書を読ん でくる	樋口	
	2	食事・栄養を促す技術② 食事と栄養に関する基礎知識	講義		樋口	
	3	食事・栄養を促す技術③ 食事摂取の援助	講義		樋口	
	4	食事・栄養を促す技術④ 食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	演習		樋口	
	5	食事・栄養を促す技術⑤ 非経口的栄養摂取の援助	講義 演習		樋口	
	6	食事・栄養を促す技術⑥ 経管栄養(経鼻胃チューブの挿入) (経管栄養法による流動食の注入)			樋口	
	7	排泄を促す援助① 排尿・排便の基礎知識	講義		樋口	
	8	排泄を促す援助② 排尿・排便の基礎知識	講義		樋口	
	9	排泄を促す援助③ (排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等))	演習		樋口	
	10	排泄を促す援助④ (排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等))	演習		樋口	
	11	排泄を促す援助⑤ (排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等))	演習		樋口	
	12	排泄を促す援助⑥ 排便障害の種類	講義 演習		樋口	
	13	排泄を促す援助⑦ (排便)(洗腸)			樋口	
	14	排泄を促す援助⑧ 排尿障害の種類	講義 演習		樋口	
15	排泄を促す援助⑨ (導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入) (膀胱留置カテーテルの管理)	樋口				
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】 看護がみえる vol.1 基礎看護技術、vol.2 臨床看護技術【メディックメディア】					
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ【メディカ出版】					
評価方法	終講試験(筆記試験・小レポート)					
学生へのメッセージ	解剖生理学の復習をして臨んでください 基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前には課題の提示をします					

分野:専門分野		科目:看護共通技術 I (コミュニケーション)		【 1単位:15時間		授業回数: 8回 】	
担当教員	樋口 美樹	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義	演習	
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学習する。						
到達目標	1. 対象の生活援助のための基本的知識を理解し、基礎技術を習得する。 2. 演習を通して、看護者としての態度を身につける。 3. 人間関係を成立・発展させるために、コミュニケーション能力を身につける。						
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの構成要素と成立過程	講義 GW		樋口		
	2	関係構築のためのコミュニケーションの基本	講義 GW		樋口		
	3	効果的なコミュニケーションの実際①	講義 GW		樋口		
	4	効果的なコミュニケーションの実際②	講義 GW		樋口		
	5	コミュニケーション障害への対応①	講義 GW		樋口		
	6	コミュニケーション障害への対応②	講義 演習		樋口		
	7	プロセスレコードの基礎理解	講義 GW		樋口		
	8	プロセスレコードの記述演習	講義 演習		樋口		
使用テキスト等	系統別看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護技術 I【医学書院】						
主たる参考図書・文献	看護がみえる vol.1 基礎看護技術【メディックメディア】 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 19巻 基礎看護技術 I【メディカ出版】						
評価方法	終講試験(筆記試験・小レポート・授業態度)						
学生へのメッセージ	基礎看護技術を学習していきますので、予習、復習を行ってください また、演習前には課題の提示をします						

分野: 専門分野 科目: 看護共通技術Ⅱ (ヘルスアセスメント)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】			
担当教員	福田 早苗 宮崎 亜矢子	年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	看護の対象となる人々の健康状態を身体的・心理的、社会的な視点から総合的に判断するために必要なヘルスアセスメントの基礎を学ぶ。				
到達目標	1. ヘルスアセスメントの目的と意義が説明できる 2. 問診・視診・触診・聴診・打診などの基本的な技術を安全かつ正確に実施できる 3. 得られた情報をもとに、的確に対象の健康状態をアセスメントできる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	ヘルスアセスメントの目的と意義 ヘルスアセスメントを構成する基本項目	講義		宮崎 福田
	2	「生きること」のアセスメント① 全身状態の観察 (身体計測: 身長、体重、皮下脂肪厚、腹囲)	演習		福田 宮崎
	3	「生きること」のアセスメント② バイタルサイン 問診・視診・触診・聴診・打診	演習		宮崎 福田
	4	フィジカルアセスメント① 体温維持に関する基礎知識とアセスメント	演習		宮崎 福田
	5	フィジカルアセスメント② 呼吸器系に関する基礎知識とアセスメント	演習		福田 宮崎
	6	フィジカルアセスメント③ 呼吸器系に関する基礎知識とアセスメント	演習		福田 宮崎
	7	フィジカルアセスメント④ 循環器系に関する基礎知識とアセスメント	演習		福田 宮崎
	8	フィジカルアセスメント⑤ 循環器系に関する基礎知識とアセスメント	演習		福田 宮崎
	9	フィジカルアセスメント⑥ 神経系に関する基礎知識とアセスメント	演習		福田 宮崎
	10	フィジカルアセスメント⑦ 腹部に関する基礎知識とアセスメント	演習		宮崎 福田
	11	フィジカルアセスメント⑧ 筋・骨格系に関する基礎知識とアセスメント	演習		宮崎 福田
	12	フィジカルアセスメント⑨ 皮膚・感覚器系に関する基礎知識とアセスメント	演習		福田 宮崎
	13	事例を用いたヘルスアセスメント演習①	演習		宮崎 福田
	14	事例を用いたヘルスアセスメント演習②	演習		福田 宮崎
15	事例を用いたヘルスアセスメント演習③	演習		宮崎 福田	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学[2] 【医学書院】 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 【メディカ出版】 日常生活行動からみる ヘルスアセスメント 看護 形態機能学の枠組みを用いて 第2版 【日本看護協会出版社】				
評価方法	技術チェックと授業での事前課題、ワークシート、出席等を総合的に評価します				
学生へのメッセージ	事前課題を行って授業に参加しましょう				

分野: 専門分野 I						看護共通技術Ⅲ (安全・安楽の技術)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	川原 千恵美		年次・ 開講時期	1年通年	授業形態	講義	演習		
授業の概要	看護実践の基盤となる対象の理解、共通する基本技術を科学的根拠に基づき学習する								
到達目標	1. 医療安全の重要性を理解し、安全確保の技術としての予防策ができる 2. 苦痛の緩和、安楽の確保技術を修得する 3. 感染の発生の要因を理解し、その防御のための知識と技術を習得する								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	感染防止の技術 ①感染とその予防の基礎知識	講義		川原				
	2	②標準予防策(スタンダードプリコーション)	講義 演習		川原				
	3	③感染経路別予防策の基礎知識と対策	講義		川原				
	4	⑤洗浄・消毒・滅菌の基礎知識と対策の 実際 ⑥無菌操作の基礎知識と対策の実際	講義 演習		川原				
	5	⑦感染廃棄物の取り扱いの基礎知識と 対策の実際 ⑧カテーテル関連血流感染対策 ⑨針刺し防止の基礎知識と対策の実際	講義 演習		川原				
	6	無菌操作	講義		川原				
	7	ガウンテクニック	演習		川原				
	8	医療施設における感染管理	講義 演習		川原				
	9	安全確保の基礎知識 KYT	講義 GW		川原				
	10	チューブ類の事故防止	講義 GW		川原				
	11	患者誤認防止 誤薬防止 転倒・転落防止 薬剤・放射線暴露の防止	講義 GW		川原				
	12	安楽確保の技術① 電法・リラクゼーション	講義		川原				
	13	安楽確保の技術② 温電法	演習		川原				
	14	安楽確保の技術③ 冷電法	演習		川原				
15	安楽確保の技術④ リラクゼーション	演習		川原					
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 【医学書院】 看護がみえるVOL.1 基礎看護技術 【メディックメディア】								
主たる参考図書・文献	系統別看護学講座 統合分野 医療安全 【医学書院】								
評価方法	終講試験、受講態度など								
学生へのメッセージ									

分野: 専門分野						科目: 看護共通技術Ⅳ (看護過程展開の技術)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	宮崎 亜矢子		年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習		
授業の概要	看護過程の概念を学び、看護課題を解決するための展開の方法を理解する。								
到達目標	1. 看護過程の意義と目的が理解できる 2. 看護過程の構成要素と思考プロセスについて理解できる 3. 事例をもとに看護過程の展開をすることができる 4. 看護計画に基づいた看護実践能力を養う								
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当				
	1	看護過程とは 看護過程展開の基盤となる考え方	講義		宮崎				
	2	事例紹介 対象の理解 フェイスシートの記入	講義 演習		宮崎				
	3	対象の理解 アセスメント 情報の整理・分類① 主観的情報と客観的情報の区別	講義 演習		宮崎				
	4	アセスメント 情報の整理・分類② データの正確性・正確性をゆがめる要因 原因・誘因の分析①	講義 演習		宮崎				
	5	アセスメント 情報の整理・分類③ データの正確性・正確性をゆがめる要因 原因・誘因の分析②	講義 演習		宮崎				
	6	関連図・全体像 ①	講義 演習		宮崎				
	7	関連図・全体像 ② 看護問題の明確化 看護診断	講義 演習		宮崎				
	8	看護計画作成① 目標・成果・成果指標の設定	講義 演習		宮崎				
	9	看護計画作成② 看護計画の立案	講義 演習		宮崎				
	10	看護計画の実施	講義 演習		宮崎				
	11	看護計画の追加・修正	講義 演習		宮崎				
	12	客観的臨床能力試験 (OSCE) 準備 看護計画に基づき技術演習	講義 演習		宮崎				
	13	客観的臨床能力試験 (OSCE)	演習		宮崎				
	14	客観的臨床能力試験 (OSCE) リフレクション	講義 演習		宮崎				
15	看護要約	講義 演習		宮崎					
使用テキスト等	専門分野 基礎看護技術 基礎看護学2【医学書院】 看護がみえるvol.4 看護過程の展開【メディックメディア】								
主たる参考図書・文献	看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント 第5版【Gakken】								
評価方法	看護過程展開の課題提出、OSCEで総合的に評価します								
学生へのメッセージ	課題に取り組み、わからないことは担当教員に質問しましょう。								

分野:専門分野 I		科目:診療の補助技術		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	川原 千恵美	年次・開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	診療の補助は医師の治療のサポートのほか、薬剤の投与、採血など、医師の指示に基づき行う医療的な行為のことである。講義では、専門基礎分野の知識を踏まえ、科学的根拠を併せて学んでいく。また、演習を通して患者の苦痛や不安、恐怖に寄り添う看護師の役割を理解するとともに、針刺し事故などから看護師自身を守る視点にも着目し、安全で確実な手技の修得を目指す。				
到達目標	1. 検査、治療、処置に必要な基礎的知識が理解でき、安全で確実な手技が実施できる。 2. 検査・治療・処置の目的や意義を理解し、看護者の役割を述べることができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	ガイダンス 診療の補助技術を学ぶ目的と意義	講義	テキストを読んで事前学習をして望むこと	川原
	2	呼吸を整える技術①(吸入と吸引)	講義 演習		川原
	3	呼吸を整える技術②(酸素療法)	演習 GW		川原
	4	与薬の基礎知識	講義 GW		川原
	5	症状・生体機能管理技術	講義 GW		川原
	6	静脈血採血の演習	演習		川原
	7				
	8	創傷管理・包帯法・止血法	講義 GW		川原
	9	筋肉注射の演習	演習		川原
	10				
	11	包帯法・止血法	演習		川原
	12	輸液・輸液ポンプ・シリンジポンプ・輸血	講義 GW		川原
	13	輸液・輸液ポンプ・シリンジポンプ 演習	演習		川原
	14	診療の補助技術に関する計算演習 全体の振り返り	講義 GW		川原
15	救急救命処置技術 久留米消防署の救命救急士によるBLS講習	演習	川原		
使用テキスト等	系統別看護学講座 基礎看護技術Ⅱ【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 基礎看護技術【メディカ出版】 看護が見えるvol.1基礎看護技術 vol.2臨床看護技術【メディックメディア】 系統別看護学講座 医療安全【医学書院】				
評価方法	技術試験、終講試験、レポート提出、受講態度など				
学生へのメッセージ	事前学習・事前課題を提示しますので予習をしっかりとって臨んで下さい				

分野:専門分野 科目:暮らしと健康 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	近藤 加奈子	年次・ 開講時期	1年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	人の生活を中心とした環境の変化を捉え、環境と生活との相互作用から、環境が生活や健康に与える影響とそれを支える人々と社会資源について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解する。 地域・在宅看護論の対象と活動を理解する。 人々の暮らしを支える社会資源について理解する。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	暮らすということ①	講義 演習		近藤
	2	暮らすということ②	講義 演習		近藤
	3	地域・在宅看護論の対象	講義 演習		近藤
	4	地域の生活環境が健康に与える影響	講義		近藤
	5	支え合って生きるとは	講義 演習		近藤
	6	人々と社会資源の関わり①	講義 演習		近藤
	7	人々と社会資源の関わり②	発表		近藤
	8	人々と社会資源の関わり③ まとめ	発表		近藤
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護がみえる vol.5 対象の理解 I【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	基礎からわかる地域・在宅看護論【照林社】 国民衛生の動向【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野

科目:地域を視る

【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	近藤 加奈子	年次・ 開講時期	1年後期	授業形態	講義	演習
授業の概要	疾患や障害を持って地域で暮らす人の視点から特定の地域をアセスメントする。公衆衛生学的視点から地域特性と人々の生活及び健康について探求する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人と生活にかかわる環境の変化について説明できる。 2. 生活環境が人の健康に与える影響と対策について具体的な例を用いて説明できる。 3. 特定の地域を地区踏査し、公衆衛生学的視点から地域特性と人々の健康について考察できる。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	健康な暮らしと環境	講義	「暮らしと健康」で学んだことを復習してくる	近藤	
	2	健康な環境のアセスメント① 地区踏査の演習の説明・準備	演習		近藤	
	3	健康な環境のアセスメント② 地区踏査	演習		近藤	
	4	健康な環境のアセスメント③ 地区踏査	演習		近藤	
	5	健康な環境のアセスメント④ 地区踏査	演習		近藤	
	6	健康な環境のアセスメント⑤ 分析	GW		近藤	
	7	健康な環境のアセスメント⑥ 分析	GW		近藤	
	8	健康な環境のアセスメント⑦ 発表 まとめ	発表		近藤	
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護がみえる vol.5 対象の理解 I【メディックメディア】					
主たる参考図書・文献	看護判断のための気づきとアセスメント地域・在宅看護【中央法規】 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2班【医歯薬出版株式会社】 国民衛生の動向【財団法人 厚生統計協会】					
評価方法	終講試験(発表・レポート)					
学生へのメッセージ						

分野:専門分野 科目:地域保健活動 【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	近藤 加奈子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	地域包括ケアシステムにおける自助・互助の促進に向けて、地域で生活する人々の健康の保持増進・疾病予防に必要な保健活動を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 健康寿命延伸に向けて地域で生活する人々の健康課題を理解する。 健康保持増進・疾病予防の保健活動の具体的な方法を理解する。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	地域保健活動とは①	講義 演習	「地域を視る」で得た各領域別の強み・弱みの視点を振り返る	近藤
	2	地域保健活動とは②	講義 GW		近藤
	3	健康講座① 演習の説明・準備	講義 演習		近藤
	4	健康講座② 情報収集・媒体作成	演習		近藤
	5	健康講座③ 情報収集・媒体作成	演習		近藤
	6	健康講座④ 発表準備	演習		近藤
	7	健康講座⑤ 各グループ発表	演習		近藤
	8	健康講座⑥ 各グループ発表 まとめ	演習		近藤
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護がみえる vol.5 対象の理解 I【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	基礎からわかる地域・在宅看護論【照林社】 国民衛生の動向【厚生統計協会】 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2班【医歯薬出版株式会社】				
評価方法	終講試験(発表・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野		科目:地域・在宅看護概論		【1単位: 30時間 授業回数:15回】	
担当教員	本村 和久 池田 敦子	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	地域・在宅看護を取り巻く社会的背景から地域包括ケアシステムの意義について学ぶ。対象とその家族の特徴を知り、関連する法制度及び地域・在宅看護の役割と基本的姿勢を学ぶ				
到達目標	1. 地域・在宅看護を取り巻く社会的背景と看護の対象を理解する。 2. 対象の地域での暮らしから地域包括ケアシステムの意義を理解する。 3. 地域での暮らしを支える法制度及び社会資源を理解する。 4. 地域での暮らしを支える在宅看護の役割と基本的姿勢について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	地域・在宅看護の概要 暮らしを支える看護について考える	講義 ワーク		池田
	2	在宅医療の現状と課題	講義		本村
	3	地域・在宅看護の社会的背景と将来予測 (統計から考える)	講義 ワーク		池田
	4	地域・在宅看護の対象者の特徴	講義 ワーク		池田
	5	地域・在宅看護における基本理念	講義 ワーク		池田
	6	地域包括ケアシステム① 地域資源 地域包括支援センター	講義 ワーク		池田
	7	地域包括ケアシステム② 療養の場の移行に伴う看護 多職種連携	講義 ワーク		池田
	8	地域・在宅生活に関する法制度① 医療保険制度	講義 ワーク		池田
	9	地域・在宅生活に関する法制度② 介護保険制度	講義 ワーク		池田
	10	介護保険サービス	講義 ワーク		池田
	11	対象者の暮らしを支えるケアマネジメント演習	講義 ワーク		池田
	12	地域・在宅生活に関する制度③ 障害者総合支援法、難病法、生活保護法等	講義 ワーク		池田
	13	地域・在宅生活に関する法制度④ 訪問看護制度	講義 ワーク		池田
	14	訪問看護の特徴	講義 ワーク		池田
15	訪問看護の倫理	講義 ワーク		池田	
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 看護がみえる⑤対象の理解【メディックメディア】 国民衛生の動向 最新版 財団法人【構成統計協会】				
主たる参考図書・文献	地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論②【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・ワークシート・発表)				
学生へのメッセージ	地域での暮らしをイメージしながら協同学習を通して学習を進めていきましょう				

分野: 専門分野		科目: 地域・在宅看護方法論Ⅰ (在宅療養を支える技術)		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	大村 ちあき 後藤 めぐみ 近藤 加奈子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	
				講義 演習	
授業の概要	療養者と家族の生活を支える日常生活援助の特徴とその方法を学ぶ。				
到達目標	1. 在宅看護活動における好ましいコミュニケーション方法を修得する。 2. 対象者の障害に応じた援助方法を修得する。 3. 在宅ケアにおける安全を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	在宅で看護を展開するにあたって(訪問看護技術)	講義 演習		近藤
	2	在宅で求められる看護技術援助① 食生活・嚥下に関する在宅看護技術	講義	基礎看護学の学 修内容を援助項 目ごとにまとめて 復習しておく	大村
	3	在宅における医療管理を要する人の看護:① 経管栄養法、在宅中心静脈栄養法	講義		大村
	4	在宅で求められる看護技術援助② 排泄・移動に関する在宅看護技術	講義		大村
	5	在宅における医療管理を要する人の看護:② 膀胱留置カテーテル、ストーマ	講義		大村
	6	在宅で求められる看護技術援助③ 呼吸に関する在宅看護技術	講義		大村
	7	在宅における医療管理を要する人の看護:③ 非侵襲的陽圧換気療法、在宅酸素療法(HOT)	講義		大村
	8	在宅における医療管理を要する人の看護:④ 在宅人工呼吸療法と排痰法	講義 演習		大村
	9	在宅療養を支える福祉用具と住まいづくり	講義 演習		近藤
	10	在宅で求められる看護技術援助④ 清潔に関する在宅看護技術 継続訪問の在宅看護演習①演習:計画・準備	講義 演習		近藤
	11	継続訪問の在宅看護演習② ロールプレイ(日常生活援助)	講義 演習		近藤
	12	継続訪問の在宅看護演習③ ロールプレイ(日常生活援助)	講義 演習		近藤
	13	在宅における医療管理を要する人の看護:⑤ 良肢位、褥瘡	講義		大村
	14	在宅における医療管理を要する人の看護:⑥ 外来がん治療の支援、疼痛緩和	講義		大村
15	特定行為による訪問看護の実際	特別講義			後藤
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論②【医学書院】				
主たる参考図書・文献	基礎からわかる地域・在宅看護論【照林社】 看護技術プラクティス【学研メディカル秀潤社】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート・演習)				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野 科目: 地域・在宅看護方法論Ⅱ (状態別看護) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	大村 ちあき 近藤 加奈子	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	在宅看護介入時期別及び状態別の看護の特徴を知り、訪問看護の実践に向けた看護展開方法を学ぶ。				
到達目標	1. 在宅看護介入時期別の在宅看護の特徴が理解できる。 2. 疾病や障害を持つ療養者と家族の生活を踏まえたニーズを理解し、看護実践方法を学ぶ。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	地域・在宅看護の展開 看護過程、看護過程の展開方法	講義 演習		近藤
	2	判断カトレニング	講義 演習		近藤
	3	医療的ケア児の地域・在宅看護	講義		大村
	4	脳卒中の療養者の在宅移行・在宅療養初期の看護	講義		大村
	5	難病療養者の地域・在宅看護	講義		大村
	6	精神疾患のある療養者の地域・在宅看護	講義		大村
	7	認知症高齢者の地域・在宅看護	講義		大村
	8	末期がん患者の在宅看取り	講義		大村
	9	地域・在宅看護における危機管理・災害対策	講義		大村
	10	地域・在宅看護における事例展開 ①情報収集 ②疾患学習	演習		近藤
	11	③アセスメント	演習		近藤
	12	③アセスメント	演習		近藤
	13	④アセスメント項目の関連性	演習		近藤
	14	⑤全体像の整理 ⑥目標設定	演習		近藤
15	⑦看護計画 まとめ	演習 講義		近藤	
使用テキスト等	地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①【医学書院】 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論②【医学書院】 看護にみえるvol.5 対象の理解Ⅰ【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	在宅ケアのための判断カトレニング【医学書院】 在宅看護過程演習【クオリティケア】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野 科目: 成人看護学概論 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	大久保 純子	年次・開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現代社会を生きる成人期の特徴と健康問題を理解し、健康生活をはぐむ看護援助を学ぶ。成人期にある人とその家族を看護するうえで、必要な概念、理論を学修する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある対象の特徴を理解できる。 2. 成人期にある対象の健康レベルに応じた看護がわかる。 3. 成人期にある対象に有用な理論や概念が理解できる。 4. 成人期における現代社会の背景と生活状況から健康問題を理解し、健康の保持・増進のために必要な知識を理解する。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	成人期にある人の理解① 青年期・壮年期・中年期・向老期	講義 GW		大久保
	2	成人期にある人の理解②	講義 GW		大久保
	3	成人の生活を理解する視点と方法① 成人期のある人の生活・家庭・仕事	講義 GW		大久保
	4	成人の生活を理解する視点と方法②	講義 GW		大久保
	5	成人期にみられる健康障害① 生活習慣・職業・ストレス	講義 GW		大久保
	6	成人期にみられる健康障害② 身体活動・セクシュアリティ・更年期	講義 GW		大久保
	7	成人期にみられる健康障害③	講義 GW		大久保
	8	成人期にみられる健康障害④	講義 GW		大久保
	9	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴① ヘルスプロモーション	講義 GW		大久保
	10	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴② 急性期	講義 GW		大久保
	11	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴③ 慢性期	講義 GW		大久保
	12	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴④ 回復期	講義 GW		大久保
	13	成人期の健康レベルに応じた看護の特徴⑤ 終末期	講義 GW		大久保
	14	成人期の対象理解に必要な概念	講義 GW		大久保
15	健康教育	講義 GW		大久保	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 【医学書院】 看護がみえるVol.5 対象の理解 I【メディックメディア】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論 【メディカ出版】 国民衛生の動向 厚生統計協会				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)、受講状況など総合的に評価する				
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう				

分野: 専門分野		科目: 成人看護学方法論 I (慢性期看護)		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】	
担当教員	野口 由紀子 萬野 恵美子 長主 貴大 大久保 純子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	慢性・長期的な健康障害を持つ患者の特徴と看護を学ぶ。				
到達目標	1. 慢性的に経過する症状に応じた看護の特徴が理解できる。 2. 慢性・長期的な健康障害を持つ患者の検査・治療に必要な看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	内分泌疾患患者の特徴と看護①	講義		野口
	2	内分泌疾患患者の特徴と看護②	講義		野口
	3	内分泌疾患患者の特徴と看護③ (血糖測定、自己注射指導 皮下注射)	講義		野口
	4	消化器疾患患者の特徴と看護①	講義		萬野
	5	消化器疾患患者の特徴と看護②	講義		萬野
	6	消化器疾患患者の特徴と看護③	講義		萬野
	7	腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護①	講義		長主
	8	腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護②	講義		長主
	9	身体防御機能の障害のある患者の看護① (皮膚、アレルギー、膠原病、感染症)	講義		長主
	10	慢性期にある患者の看護過程の展開①	演習		大久保
	11	慢性期にある患者の看護過程の展開②	講義 演習		大久保
	12	慢性期にある患者の看護過程の展開③	講義 演習		大久保
	13	慢性期にある患者の看護過程の展開④	講義 演習		大久保
	14	慢性期にある患者の看護過程の展開⑤	講義 演習		大久保
15	ストーマケア (ストーマの管理)	講義 演習		大久保	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑥内分泌・代謝【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑤消化器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧腎・泌尿器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑫皮膚【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑪アレルギー・膠原病・感染症【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑧ 腎/泌尿器/内分泌・代謝【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護③ 消化器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑥ 眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント【メディカ出版】				
評価方法	終講試験(筆記試験)、看護過程の課題提出				
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう				

分野:専門分野		科目:成人看護学方法論Ⅱ (急性期看護)		【 1単位:30時間	授業回数:15回】
担当教員	宮地 千加子 本川 満 森 さつき 岩本 雅俊 大久保 純子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	健康の危機状況にある患者の特徴と看護を学ぶ。				
到達目標	1. 健康の危機状況にある症状に応じた看護の特徴が理解できる。 2. 健康の危機状況にある患者の検査・治療に必要な看護が理解できる。 3. 急性期にある患者や家族の倫理について考えることができる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	急性期看護と倫理	講義		大久保
	2	呼吸器疾患患者の特徴と看護①	講義		宮地
	3	呼吸器疾患患者の特徴と看護②	講義		宮地
	4	呼吸器疾患患者の特徴と看護③	講義		宮地
	5	循環器疾患患者の特徴と看護①	講義		本川
	6	循環器疾患患者の特徴と看護②	講義		本川
	7	循環器疾患患者の特徴と看護③	講義		本川
	8	性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	講義		森
	9	がん患者への看護①	講義		森
	10	がん患者への看護②	講義		森
	11	血液・造血器疾患患者の特徴と看護	講義		大久保
	12	救急看護 クリティカルケア①	講義		岩本
	13	救急看護 クリティカルケア②	講義 演習		岩本
	14	救急看護 クリティカルケア③ (医療機器の操作・管理)	講義		岩本
15	集中治療を受ける患者の看護	講義		岩本	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 成人看護学② 呼吸器 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学③ 循環器 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学④ 血液・造血器 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑨ 女性生殖器 【医学書院】 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 【医学書院】 系統看護学講座 別巻 がん看護 【医学書院】 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護① 呼吸器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護② 循環器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑨ 女性生殖器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 血液/アレルギー・膠原病/感染症【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得【メディカ出版】				
評価方法	終講試験(筆記試験)、課題提出				
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう				

分野: 専門分野		科目: 成人看護学方法論Ⅲ (回復期看護)		【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】	
担当教員	高倉 望 林田 品子 成富 耕治 大久保 純子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	回復期の対象を理解し、障害の程度に応じた援助に必要な知識、技術を学ぶ。 回復期の対象と家族の生活行動の再獲得、社会復帰を目指した看護を学ぶ。				
到達目標	1. リハビリテーションの意味と看護師の役割について理解する。 2. 回復過程にある対象と家族を理解し、社会復帰に必要な看護を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	脳神経疾患患者の特徴と看護①	講義		高倉
	2	脳神経疾患患者の特徴と看護②	講義		高倉
	3	脳神経疾患患者の特徴と看護③	講義		高倉
	4	運動器疾患患者の特徴と看護①	講義		林田
	5	運動器疾患患者の特徴と看護②	講義		林田
	6	運動器疾患患者の特徴と看護③	講義		林田
	7	リハビリテーション看護①	講義		成富
	8	リハビリテーション看護②	講義		成富
	9	リハビリテーション看護③ (自動・他動運動の援助 徒手筋力テスト)	講義 演習		成富
	10	感覚機能障害のある患者の看護	講義 演習		大久保
	11	セルフケアの再構築①	演習		大久保
	12	セルフケアの再構築②	演習		大久保
	13	セルフケアの再構築③	演習		大久保
	14	セルフケアの再構築④	演習		大久保
15	セルフケアの再構築⑤	演習		大久保	
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑦ 脳・神経【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑩ 運動器【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑬ 眼【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑤ 脳・神経【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑦ 運動器【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑤ リハビリテーション看護【メディカ出版】 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護④ 脳・神経機能障害/感覚機能障害【メディカ出版】				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)、受講状況など総合的に評価する				
学生へのメッセージ	予習、復習をして講義に臨みましょう				

分野:専門分野 科目:老年看護学概論 【1単位:30時間 授業回数:15回】

担当教員	福田 早苗	年次・開講時期	1年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	老年期の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな特徴を理解し、医療・保健・介護・福祉の現状、高齢者保健医療福祉対策、高齢社会における課題と対策等を学習する。				
到達目標	1. 加齢に伴う高齢者の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな特徴や生活の変化について理解する。 2. 高齢者を取り巻く社会の動向を理解し保健医療福祉制度や施策を理解する。 3. 生活を支えるという視点で老年看護の役割を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	高齢者疑似体験① 歩行 階段 食事	GW 演習		福田
	2	高齢者疑似体験② 排泄 更衣 入浴	GW 演習		福田
	3	高齢者理解① ・高齢者とは ・加齢と老化	講義 ワーク	1.老いるということ、老いを生きるということ	福田
	4	高齢者理解② ・健康と生活 ・家族のあり方 ・保健医療福祉制度	講義 ワーク		福田
	5	高齢社会における保健医療福祉の動向	講義	2.超高齢社会と社会保障	福田
	6	高齢者の権利擁護 高齢者虐待 ・身体拘束	講義		福田
	7	老年看護の基本 ・理論	講義 ワーク	3.老年看護のなりたち	福田
	8	高齢者のヘルスアセスメント① ・健康と疾病 ・生活史	ワーク	4.高齢者のヘルスアセスメント	福田
	9	高齢者のヘルスアセスメント② 身体機能の変化・認知機能の変化	発表		福田
	10	高齢者のヘルスアセスメント③ 身体機能の変化・認知機能の変化	ワーク		福田
	11	高齢者のヘルスアセスメント④ 心理的・社会的変化	発表		福田
	12	高齢者のヘルスアセスメント⑤ 心理的・社会的変化	講義 演習		福田
	13	生活・療養の場における看護① 高齢者を含む家族の看護	講義 ワーク	9.生活・療養の場における看護	福田
	14	生活・療養の場における看護② 自宅～入院～退院	講義 ワーク		福田
15	生活・療養の場における看護③ 自宅～入所～退所	講義 ワーク	福田		
使用テキスト等	系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護学【医学書院】 系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	国民衛生の動向 財団法人【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート・授業態度)				
学生へのメッセージ	予習・復習をしましょう。				

分野:専門分野 科目:老年看護学方法論Ⅰ 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】
 (ADLに障害を有する高齢者の看護)

担当教員	真田 洋子	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	高齢者の生活や家族を理解したうえで、生活を営むために不可欠な生活行動に着眼し、高齢者のもてる力を活用できるような老年看護に必要な看護を学習する。				
到達目標	1. 高齢者の加齢変化や障害を評価し、持てる力を活用した援助・関わりを理解することができる 2. 高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、必要な支援を適切に提供することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	高齢者の理解 (国際生活機能分類) 健康状態のアセスメント(CGF7)	講義 DVD	老年看護学 第4章 Aヘルスアセスメント、	真田
	2	高齢者の理解 (高齢者総合機能評価) ADLに障害を有する高齢者の生活の再構築	講義 GW	老年看護学 第7章 Eリハビリテーションを受ける高齢者の看護、	真田
	3	歩行・移動を支える看護 歩行・移動・転倒 :アセスメントと計画	講義 GW	老年看護学 第5章	真田
	4	食生活を支える看護 食事:アセスメントと計画	講義 GW	老年看護学 第5章 B食事・食生活	真田
	5	食生活を支える看護 摂食嚥下障害	演習 GW	老年看護学 第5章 B食事・食生活	真田
	6	排泄を支える看護 排尿・排便障害:アセスメントと計画	講義 GW	老年看護学 第5章 C排泄	真田
	7	排泄を支える看護 排便障害への援助	演習 GW	老年看護学 第5章 C排泄	真田
	8	清潔・衣生活を支える看護 清潔・衣生活	講義 GW	老年看護学 第5章 D清潔	真田
	9	清潔・衣生活を支える看護 排泄・清潔・衣生活の援助	演習 GW	老年看護学 第5章 C排泄 D清潔	真田
	10	活動と休息を支える看護 活動と休息	講義 GW	老年看護学 第5章	真田
	11	生活を支える看護 レクリエーション 活動計画書作成・準備	講義 GW	レクリエーション企画 活動計画を考える 必要物品を準備する	真田
	12	生活を支える看護 活動計画実施 実践・評価	演習 GW	活動計画実施	真田
	13	活動と休息を支える看護 睡眠障害	講義 GW	老年看護学 第5章	真田
	14	高齢者の理解 コミュニケーション 高齢者のセクシュアリティ	講義	老年看護学 第5章 Fコミュニケーション Gセクシュアリティ	真田
15	高齢者の理解 看護サマリー	講義	看護がみえる④ 看護過程の展開 評価 成果の達成度判定	真田	
使用テキスト等	系統看護学講座専門分野 老年看護学【医学書院】 系統看護学講座専門分野 老年看護 病態・疾患論【医学書院】 看護がみえる①基礎看護技術【メディックメディア】 看護がみえる④看護過程の展開【メディックメディア】				
主たる参考文献・文献	看護根拠と事故防止から見た老年看護技術【医学書院】				
評価方法	終講試験(レポート・筆記試験・授業態度)				
学生へのメッセージ	ADL障害がある高齢者に何をどこまでどのように援助する必要があるのか考えましょう				

分野: 専門分野 科目: 老年看護学方法論Ⅱ 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】
 (疾病論 認知症を有する高齢者の看護)

担当教員	深山 加寿代 真田 洋子	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	高齢者の特性や患者の個性、疾病の特性を理解し、心理・精神面機能面への影響を考慮しながら、高齢者に多い疾患の事例で看護過程を展開し、援助方法を考え、看護実践へつなげる。				
到達目標	1. 高齢者の健康障害・疾患の特徴と援助方法、看護の方法を理解する。 2. 認知症患者を理解し、ケアの意味と技法について説明できる。 3. 老年看護における看護過程を展開することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	学生が考える老年看護とは 価値観の違いを知る	講義 GW	テキストを読む	深山
	2	高齢者に起こりやすい疾患①	講義 GW	テキストを読む	深山
	3	高齢者に起こりやすい疾患②	講義 GW	テキストを読む	深山
	4	症状のアセスメント	講義 GW	テキストを読む	深山
	5	精神神経機能障害と看護	講義 GW	テキストを読む	深山
	6	視覚・聴覚障害と看護 呼吸器・循環器障害と看護	講義 GW	テキストを読む	深山
	7	呼吸器・循環器障害と看護 泌尿器障害と看護	講義 GW	テキストを読む	深山
	8	皮膚障害と看護 感染症と看護 その他の症候・疾患・障害と看護	講義 GW	テキストを読む	深山
	9	認知症の看護(自宅～入所～退所)	講義 GW	テキストを読む	深山
	10	終末期の看護(自宅～入所～退所)	講義 GW	テキストを読む	深山
	11	老年看護学における看護過程の展開① 大腿骨頭部骨折術後 看護	講義	老年看護学 看護過程の展開	真田
	12	老年看護学における看護過程の展開② 大腿骨頭部骨折回復期 関連図	講義 GW	老年看護学 看護過程の展開	真田
	13	老年看護学における看護過程の展開③ 大腿骨頭部骨折回復期 看護計画	講義 GW 発表	老年看護学 看護過程の展開	真田
	14	老年看護学における看護過程の展開④ 大腿骨頭部骨折回復期 看護サマリー	講義 GW	老年看護学 看護過程の展開	真田
15	老年看護学における看護過程の展開④ 大腿骨頭部骨折回復期 退院指導	講義 GW 発表	老年看護学 看護過程の展開	真田	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 老年看護学【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	看護がみえるVo.4 看護過程の展開【メデリックメディア】				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)				
学生へのメッセージ	授業の前にテキストを読んでおきましょう				

分野:専門分野 科目:小児看護学概論 【 1単位: 30時間 授業回数: 15回 】

担当教員	西 恵美子 服部 道枝	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	現在の子どもと家族の概況や倫理的視点から小児看護の役割と課題を学ぶ。 小児の成長・発達の基本的な知識を学ぶ。現代の子どもを取り巻く社会環境を学ぶ。				
到達目標	1. 小児看護の特徴について理解する 2. 小児の成長・発達について理解する 3. 小児と小児を取り巻く環境について理解する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	小児看護の特徴と理念 小児看護のめざすところ 小児と家族の諸統計	講義 GW		西
	2	小児看護の特徴と理念 小児看護の変遷 小児看護の倫理～子どもの権利～ 小児看護の課題	講義 GW		西
	3	子どもの成長・発達 成長・発達とは 成長・発達の進み方(一般的原則) 成長・発達に影響する因子	講義 GW		服部
	4	子どもの栄養 成長評価 発達評価	講義 GW		西
	5	各発達段階の特徴と看護 新生児期～乳児期	講義 GW		服部
	6	各発達段階の特徴と看護 乳児期①	講義 GW		服部
	7	各発達段階の特徴と看護 乳児期②	講義		服部
	8	各発達段階の特徴と看護 幼児期①	講義 GW		服部
	9	各発達段階の特徴と看護 幼児期②	講義 GW		服部
	10	各発達段階の特徴と看護 幼児期③	講義 GW		服部
	11	各発達段階の特徴と看護 学童期①	講義 GW		服部
	12	各発達段階の特徴と看護 学童期②	講義 GW		服部
	13	各発達段階の特徴と看護 思春期・青年期	講義 GW		服部
	14	子どもと家族を取り巻く社会 子どもに関する関係法令	講義 GW		西
15	子どもと家族を取り巻く社会 予防接種 学校保健	講義 GW		西	
使用テキスト等	系統別看護学別講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 小児看護学③ 小児の疾病と看護【メディカ出版】 国民衛生の動向				
評価方法	受講態度、グループワーク参加、終講試験				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野		科目:小児看護学方法論Ⅰ (疾病論)		【1単位:30時間	授業回数:15回	】
担当教員	轟 知光 横田 晋郎	年次・ 開講時期	2年通年	授業形態	講義	演習
授業の概要	小児の疾患を身体系統別または病態別に構成し、各疾患の病態・症状・診断・治療と看護を学ぶ。					
到達目標	1. 小児の各疾患の病態・症状・診断・治療と看護について理解する。 2. 小児保健医療の課題について考えることができる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	染色体異常・体内環境により発症する先天異常と看護 新生児の疾患と看護 代謝疾患と看護	講義		横田	
	2	内分泌疾患と看護 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護	講義		横田	
	3	感染症と看護	講義		横田	
	4	呼吸器疾患・循環器疾患と看護	講義		横田	
	5	腎・泌尿器および生殖器疾患と看護 血液・造血器疾患と看護	講義		横田	
	6	神経疾患と看護 運動器疾患と看護	講義		横田	
	7	皮膚疾患・眼疾患・耳鼻咽喉疾患と看護	講義		横田	
	8	健康問題をもつ子どもと家族の看護	講義		横田	
	9	小児における栄養管理の基礎	講義		轟	
	10	[外科的治療・処置が必要な疾患] 麻酔が小児に及ぼす影響 先天異常 口唇口蓋裂 消化器疾患	講義		轟	
	11	[外科的治療・処置が必要な疾患] 循環器疾患 神経系疾患	講義		轟	
	12	[外科的治療・処置が必要な疾患] 生殖器疾患 腫瘍性疾患	講義		轟	
	13	[外科的治療・処置が必要な疾患] 運動器疾患 耳鼻咽喉疾患	講義		轟	
	14	事故・外傷と看護	講義		轟	
15	地域における医療的ケア児と家族の看護 栄養管理 胃瘻 呼吸管理 気管切開 喉頭気管分離術 ポジショニング	講義		轟		
使用テキスト等	系統別看護学講座 小児臨床看護各論【医学書院】					
主たる参考図書・文献	ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護①～⑦【メディカ出版】 ナーシンググラフィカ 疾患と看護①～⑧【メディカ出版】 看護がみえるVol.5 対象の理解Ⅰ メディックメディア					
評価方法	終講試験(筆記試験)、授業参加態度など					
学生へのメッセージ						

分野:専門分野		科目:小児看護学方法論Ⅱ (健康問題を有する小児の看護)		【 1単位:30時間 授業回数:15回 】	
担当教員	服部 道枝	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	病気・障害を持つ子どもの特徴と看護の役割を理解し、健康問題に応じた援助方法を学ぶ				
学生の到達目標	1. 子どもの最良の健康状態を維持・増進するための援助を理解する 2. 小児看護に特有な看護技術について修得し、状況に応じた援助方法がわかる				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	健康障害をもつ子どもの看護 病気・障がいに対する子どもの反応 子どもの健康問題と看護	講義 GW		服部
	2	健康障害を持つ子どもの看護過程の展開① 気管支喘息 小児におけるアセスメントの考え方	講義 GW		服部
	3	健康障害を持つ子どもの看護過程の展開② 気管支喘息 小児におけるアセスメントの考え方	講義 GW		服部
		子どものアセスメント① 症状を示す子どもの看護(呼吸器)	講義 GW		服部
		子どものアセスメント② 症状を示す子どもの看護(循環器)	講義 GW		服部
		子どものアセスメント③ 症状を示す子どもの看護(消化器)	講義 GW		服部
		子どものアセスメント④ 症状を示す子どもの看護(腎・泌尿器)	講義 GW		服部
	4	子どものアセスメント⑤ 症状を示す子どもの看護(感染症)	講義 GW		服部
	5	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護 災害時の子どもの看護	講義 GW		服部
	6	子どもにおける疾病の経過と看護 急性期にある子どもと家族の看護	講義 GW		服部
	11	検査・処置を受ける子どもの看護① 輸液管理・経管栄養	演習 GW	ワークシート	服部
	12	検査・処置を受ける子どもの看護② 抑制・検体採取・電法	演習 GW	ワークシート	服部
	13	検査・処置を受ける子どもの看護③ 清潔・排泄	演習 GW	ワークシート	服部
	14	検査・処置を受ける子どもの看護④ 呼吸症状の緩和・救命処置	演習 GW		服部
15	障害のある子どもの看護	講義 GW		服部	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 26巻小児看護学 27巻小児看護技術 28巻小児の疾患と看護 発達段階からみた小児看護過程【医学書院】 看護がみえるVol.5 対象の理解Ⅰ				
評価方法	受講態度、グループワーク参加、小テスト、終講試験				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野 科目:母性看護学概論		【1単位: 30時間		授業回数: 15回】	
担当教員	森 真澄	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	母性の概念と女性のライフサイクルにおける健康課題や健康の保持・増進・疾病予防に必要な看護について学ぶ。				
到達目標	1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を理解し、ライフステージ各期における発達段階や健康課題を捉え看護につなぐことができる。 2. セクシュアリティは、その人がその人らしく健康に生きるための概念であることが理解できる。 3. 女性を取り巻く環境を理解し、母子保健施策の観点から母性看護の現状を理解することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	母性看護の基盤となる概念① 母性とは 母子関係と家族発達	講義		森
	2	母性看護の基盤となる看護の概念② セクシュアリティ(人間の性)	講義		森
	3	母性看護の基盤となる看護の概念③ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ヘルスプロモーション	講義		森
	4	母性看護の基盤となる看護の概念④ 母性看護の在り方 母性看護における倫理 母性看護における安全・事故予防	講義		森
	5	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 母性看護の歴史的変遷と現状 母性看護の提供システム	講義		森
	6	母性看護の対象理解① 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化	講義		森
	7	母性看護の対象理解② 女性のライフサイクルと家族 母性の発達・成熟・継承	講義		森
	8	母性看護に必要な看護技術① ・母性看護における看護過程 ・情報収集・アセスメント技術 ・母性看護に使われる看護技術	講義 演習		森
	9	ライフサイクルにおける女性の健康と看護	講義 演習		森
	10	女性のライフステージ各期における看護① ライフサイクルにおける女性の健康と看護 思春期の健康と看護	講義 演習		森
	11	女性のライフステージ各期における看護② 性成熟期の健康と看護 更年期・老年期の健康と看護	講義 演習		森
	12	リプロダクティブヘルスケア① 家族計画 人工妊娠中絶と看護	講義 演習		森
	13	リプロダクティブヘルスケア② 性感染症とその予防 HIVに感染した女性に対する看護	講義 演習		森
	14	リプロダクティブヘルスケア③ 喫煙と女性の健康 性暴力を受けた女性に対する看護	講義 演習		森
15	リプロダクティブヘルスケア④ 児童虐待と看護 国際社会と看護	講義 演習		森	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論【医学書院】				
主たる参考文献・文献	看護がみえるvol.15 対象の理解 I【メディックメディア】 国民衛生の動向【厚生統計協会】				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート)				
学生へのメッセージ	グループワークや演習を行いながら講義を進めていきます				

分野:専門分野Ⅱ 科目:母性看護学方法論Ⅰ

【 1単位:30時間 授業回数:15回 】

担当教員	森 真澄	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	マタニティサイクルにある対象の特性および家族を理解し、妊娠・分娩・新生児の特徴と援助方法を学ぶ				
到達目標	1. 妊娠期、分娩期、産褥期の身体的、心理・社会的特徴を理解できる 2. 妊娠期、分娩期、産褥期の対象に必要な看護と家族への看護を理解できる 3. 妊娠期、分娩期、産褥期に必要な看護技術を習得する 4. 新生児期の特徴を理解し、必要な看護援助を習得する				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	妊娠期における看護 ① 妊娠期の身体的、心理・社会的特性	講義		森
	2	妊娠期における看護 ② 妊婦と胎児のアセスメント	講義		森
	3	妊娠期における看護 ③ 妊婦と家族の看護・親になるための準備教育	講義		森
	4	分娩期における看護① 分娩の要素・分娩の経過・産婦、胎児、家族のアセスメント	講義		森
	5	分娩期における看護② 産婦と家族の看護 分娩期の看護の実際	講義		森
	6	分娩期の看護の実際① オポールド触診法・ノンストレステスト	演習		森
	7	産褥期における看護① 産褥経過・褥婦のアセスメント	演習		森
	8	産褥期における看護② 褥婦と家族の看護	講義		森
	9	産褥期における看護③ 施設退院後の看護	講義		森
	10	新生児期における看護 ① 新生児の生理	講義		森
	11	新生児期における看護 ② 新生児のアセスメント 新生児の健康状態のアセスメント	講義		森
	12	新生児期の看護 ③ 新生児の看護	講義		森
	13	母性看護に必要な看護技術① 妊娠期	演習		森
	14	母性看護に必要な看護技術② 産褥期	演習		森
15	母性看護に必要な看護技術③ 新生児期	演習		森	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	ナーシング・グラフィカ 母性看護技術【メディカ出版】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論【医学書院】				
評価方法	終講試験、受講態度、課題レポートなど総合的に評価				
学生へのメッセージ	体験学習を行います				

分野:専門分野 科目: 母性看護学方法論Ⅱ (周産期の医療と看護) 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】

担当教員	山本 広子 愛洲 紀子 岡村 優 伊東 貴美代 森 真澄	年次・ 開講時期	2年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	周産期における異常とハイリスク状態の妊婦・産婦・褥婦と新生児の看護を学ぶ。				
到達目標	1. 周産期の異常が理解できる。 2. ハイリスク状態の妊婦・産婦・褥婦と新生児の看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	生殖の役割と機能 ジェンダー	講義		山本
	2	出生まえからのリプロダクティブヘルスケア 遺伝と不妊、出生前診断	講義		山本
	3	妊娠の異常① 妊娠成立総論	講義		山本
	4	妊娠の異常② 特定妊婦・妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病・ 妊娠期の感染症	講義		愛洲
	5	分娩の異常① 産道の異常・微弱陣痛・帝王切開	講義		岡村
	6	分娩の異常② 胎位の異常・前置胎盤	講義		岡村
	7	産褥の異常 子宮復古不全・発熱・産褥血栓症・精神障害	講義		愛洲
	8	新生児の異常 新生児仮死・分娩外傷・低出生体重児・高ビリル ビン血症・胎児機能不全	講義		岡村
	9	ハイリスク妊婦の看護	講義		伊東
	10	異常のある産婦の看護 異常分娩時の産婦の看護 分娩時異常出血のある産婦の看護	講義		伊東
	11	新生児の異常と看護 ・低出生時の看護 ・高ビリルビン血症児の看護	講義		森
	12	異常のある褥婦の看護① ・乳房トラブル	講義		森
	13	異常のある褥婦の看護② ・感染症を有する褥婦の看護 ・本人あるいは児の健康上の問題がある褥婦の 看護	演習		森
	14	育児の困難さを抱える褥婦の看護	講義		森
15	メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援	講義		伊東	
使用テキスト等	専門分野 母性看護学各論 母性看護学2【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験)				
学生へのメッセージ	事前に予習をして臨むこと				

分野：専科目：精神看護学概 【1単位： 30時間 授業回数：15回】					
担当教員	坂巻 法明 高園 真理子	年次・ 開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	精神看護の対象者である人間の理解を深め、精神看護の目的・役割機能を考える。併せて自己を管理する能力を育成するとともに精神看護を行うものの資質の向上をめざす。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護学の主要概念を考え、精神看護がめざすものを理解する。 2. こころの健康とは、こころの健康に影響する要因について理解を深める。 3. 精神保健に関わる法制度を理解する。 4. こころの健康を守るために私達がかつメカニズムを理解する。 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	1. ガイダンス： 2. 精神看護学における主要概念	講義 演習		高園
	2	1. リカバリとレジリエンス 2. 治療的人間関係技術	講義 演習		高園
	3	1. 精神の健康とは 1) WHOの定義 2) 自分自身の健康 3) 精神的健康のものさし	講義 演習		高園
	4	1. こころの構造 1) フロイトの力動論	講義 演習		高園
	5	1. 防衛機制	講義・演習		高園
	6	精神保健医療福祉をめぐる法律 精神保健福祉法・障害者総合支援法 精神保健福祉に関連する他の法律・制度	講義		坂巻
	7	「地域で暮らす」を支える① 地域生活を支える社会資源の活用 精神障害者と精神病床の現状 「入院生活」から「地域社会」での生活へ	講義		坂巻
	8	「地域で暮らす」を支える② 地域生活（移行）支援の実際（事例）	講義		坂巻
	9	1. 脳の構造とこころ・感情・身体の間連	講義・演習		高園
	10	1. こころの誕生 1) マーラーの発達論	講義 演習		高園
	11	1. 自己理解・自己管理 1) 認知行動理論	講義 演習		高園
	12	1. ストレスモデル	講義・演習		高園
	13	1. 歴史から見る精神障がい者の人権	講義・演習		高園
	14	1. リラクゼーション	講義・演習		高園
15	1. ケアとセルフケア 1) 精神科看護がめざすこと	講義		高園	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】				
参考図書等・文献	精神科でのコミュニケーションとケア【ナツメ社】				
評価方法	終講試験（筆記試験・レポート）				
学生へのメッセージ					

分野:専門分野		科目:精神看護学方法論Ⅰ (疾病論)		1単位 30時間 授業回数: 15回		】	
担当教員	児玉英也	年次・ 開講 時期	2年前期	授業形態	講義	演習	
授業の概要	精神障害の成因・病態生理・診断・検査・治療を学び、対象の理解および精神看護の基盤とする。						
到達目標	1. 精神医療の歴史の変遷と近年における精神医療の動向と課題を理解する。 2. 精神看護の基盤として、精神障害の病態・症状・診断・治療を理解する。						
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当		
	1	近年の精神疾患の特徴 精神医療の歴史・動向	講義		児玉		
	2	精神症状と精神疾患① 意識・注意・知覚・記憶の障害 知能・思考・感情の障害	講義		児玉		
	3	精神症状と精神疾患② 意思・意欲・自我意識の障害 精神疾患の診断	講義		児玉		
	4	精神症状と精神疾患③ 統合失調症の診断・症状・治療①	講義		児玉		
	5	精神症状と精神疾患④ 統合失調症の診断・症状・治療②	講義		児玉		
	6	精神症状と精神疾患⑤ 抑うつ障害の診断・症状・治療	講義		児玉		
	7	精神症状と精神疾患⑥ 双極性障害の診断・症状・治療	講義		児玉		
	8	精神症状と精神疾患⑦ 認知症の診断・症状・治療①	講義		児玉		
	9	精神症状と精神疾患⑧ 認知症の診断・症状・治療② てんかんの診断・症状・治療	講義		児玉		
	10	精神症状と精神疾患⑨ 睡眠-覚醒障害・物質関連障害および 嗜癮性障害群の診断・症状・治療①	講義		児玉		
	11	精神症状と精神疾患⑩ 物質関連障害および嗜癮症障害群② 不安障害・強迫性障害・ストレス因関連障 害の診断・症状・治療	講義		児玉		
	12	精神症状と精神疾患⑪ 解離性障害・摂食障害の診断・症状・治療 パーソナリティ障害の診断・症状・治療	講義		児玉		
	13	精神症状と精神疾患⑫ 神経発達症の診断・症状・治療	講義		児玉		
	14	医学的検査と心理検査 精神科の治療	講義		児玉		
15	精神疾患の病態・症状・診断・治療のまとめ	講義		児玉			
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開【医学書院】						
主たる参考図書・文献							
評価方法	終講試験(筆記試験)						
学生へのメッセージ	どんな看護の現場でも、精神疾患のある方と関わることはあるので、しっかり勉強してください。						

分野:専門分野 科目:精神看護学方法論Ⅱ (精神障害を有する対象の看護)		【1単位: 30時間 授業回数: 15回】			
担当教員	中山 暁文 高園 真理子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	精神疾患をもつ対象者及びその家族に対して、科学的根拠と人間理解に基づいた看護を実践するための方法論を学び、看護の展開方法を理解する。				
到達目標	1. 治療的人間関係を成立するための援助技術を理解する。 2. 対象との治療的な関係の築き方がわかる。 3. 精神疾患の治療に伴う看護を理解する。 4. 事例を用い看護過程の展開ができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	1. 治療的環境の調整と人権擁護① 1) リスクマネジメントと安全 観察、対象の行動の意味と安全 2) 私物の管理 3) 通信・面会	講義		中山
	2	1. 治療的環境の調整と人権擁護② 4) 外出・外泊 5) 閉鎖病棟・開放病棟 6) 隔離室使用・法的根拠と看護 7) 拘束と看護	講義		中山
	3	1. 治療的環境の調整と人権擁護③ 8) 緊急事態への対処(自殺、暴力、無断離院)	講義		中山
	4	2. 精神科における看護の役割 1) 治療環境を整える 2) チームダイナミクス 3) 退院支援	講義		中山
	5	3. 精神科における身体のケア① 1) 薬物療法の有害反応と看護	講義		中山
	6	3. 精神科における身体のケア② 2) 精神療法としての身体ケア 3) 身体合併症と看護	講義		中山
	7	4. リハビリテーション療法 1) 精神科リハビリテーション 2) 精神科デイケア	講義		中山
	8	1. 信頼関係の基礎づくりに必要な知識 1) ケアの前提 2) ケアの原則	講義 ワーク		高園
	9	2. ケアの方法 1) 観察 2) 接近 3) コミュニケーション	講義 ワーク		高園
	10	3. 患者-看護師関係のアセスメント 1) アセスメントの必要性 2) プロセスレコードの活用	講義 ワーク		高園
	11	4. 患者-看護師関係でおこること 1) 共感 2) 拒絶 3) 攻撃 4) 転移・逆転移 5) 操作されるなど	講義 ワーク		高園
	12	1. 看護援助の基本構造 1) 情報収集・アセスメント 2) ケアプラン	講義 ワーク		高園
	13	3) 実施 4) 評価		高園	
	14	2. 事例による看護の展開 -統合失調症- 1) 患者と家族の理解		高園	
15	2) 精神症状と薬物療法の有害事象のアセスメント 3) 生きる力と強さに着目した看護の方向性	高園			
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 【医学書院】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	その都度紹介します。				
評価方法	終講試験(筆記試験・看護過程の展開)				
学生へのメッセージ	イメージがつかないこともあるでしょうがわかる努力は必要です。 精神看護学実習につながる土台となる科目です。				

分野: 専門分野 科目: 看護管理

【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	池末直子 古賀千代美	年次・開講時期	3年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	チーム医療及び多職種との協働・連携、看護師としてのメンバーシップ・リーダーシップを理解する。組織運営に必要な知識を学ぶことで看護のチームや組織・システムをマネジメントできる基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 質の高い看護を提供するための看護サービスの管理システムについて説明できる。 2. 保健医療福祉チームにおける看護の責任と役割について説明できる。 3. 目標達成のためのリーダーシップと“ヒト”のマネジメントの重要性について説明できる。 				
授業計画	回		授業方法	事前学習等	担当
	1	第1章 人々の生活と看護の関わり 第2章 看護管理の基本となる者 定義 看護管理のプロセス 専門職とは	講義	1年次の看護学 概論の復習	古賀
	2	第4章 看護の質向上 看護管理と倫理 医療安全 医療・看護の質と評価	講義		古賀
	3	第5章 看護管理に求められる能力 セルフマネジメント リーダーシップ 人とかかるためのスキル	講義		古賀
	4	管理に活用される理論 変革理論	講義		古賀
	5	第6章 看護職とキャリア 社会化 看護職のキャリア発達	講義		池末
	6	第7章 看護と経営 看護にかかわる医療・福祉制度 第8章 看護活動をとりまく法律・制度 保健医療福祉政策と看護管理 の実際	講義		池末
	7	第3章 看護師の仕事とその管理 マネジメントとは ヒト モノ カネ 情報 トキ 風土 看護提供システム	講義		池末
	8	看護管理についてのまとめ	講義		池末
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野 看護管理【医学書院】				
主たる参考図書・文献					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート)				
学生へのメッセージ	看護の統合と実践実習へ連携するので、実習目的など理解したうえで授業を受けること				

分野:専門分野 科目:医療安全		【 30時間 授業回数: 15回 】			
担当教員	高園 真理子 坂田 真佐子	年次・ 開講時期	3年前期 授業形態	講義 演習	
授業の概要	医療安全の背景や経緯を学び、安全管理の仕組みや医療事故対策の基本を学ぶことで専門職業人としての基盤を創る。 事例を通して事故の発生要因や防止対策について学び、危険を予防し、回避する能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の理念・制度を理解し、看護実践に必要な安全行動を説明できる 2. ヒューマンエラーや事故発生のメカニズムを理解し、危険予知ができる 3. 実習・臨床で起こりやすい事故の予防策を自ら考え、実践できる 4. 事例分析を通して、チームで安全対策を立案できる 				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	1. 医療安全の考え方 1)医療安全を学ぶ意義と事故防止 2)医療安全に使われる言葉の理解	講義		高園
	2	2. 医療事故発生の発生要因とメカニズム 1)ヒューマンエラーと人間の特性 2)情報伝達エラー	講義		高園
	3	3. コミュニケーションと組織的な医療安全対策 1) 個人情報の取り扱い 2) KYT(危険予知トレーニング)	講義 演習		高園
	4	4. 事故の分析方法 1)SHELモデル 2)4M-4E 3)RCA 2)看護師の労働安全上の事故防止	講義 演習		高園
	5	5. 医療事故に伴う看護師の法的責任 医療事故後の対応	講義		高園
	6	患者・家族との協同と安全文化の醸成	講義		坂田
	7	看護における医療事故と安全対策 看護業務と自己発生要因 医療事故の種類:その分析と対策① 誤薬 コラム 輸血	講義		坂田
	8	医療事故の種類:その分析と対策② 患者取り違え(誤認) 針刺し	講義		坂田
	9	医療事故の種類:その分析と対策③ 転倒転落 誤認	講義		坂田
	10	医療事故の種類:その分析と対策④ 異物残存 皮膚障害	講義		坂田
	11	医療事故の種類:その分析と対策⑤ 医療機器のトラブル	講義		坂田
	12	医療事故の種類:その分析と対策⑤ チューブ類のトラブル 電子カルテ等情報伝達時のトラブル	講義		坂田
	13	在宅看護における医療事故と安全対策	講義		坂田
	14	化学療法を受ける患者の対応と安全対策	講義		坂田 高園
15	化学療法を受ける患者の対応と安全対策	演習		坂田 高園	
使用テキスト等	看護の統合と実践2 医療安全 【医学書院】 医療安全ワークブック 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 医療安全 【医学書院】				
評価方法	終講試験(筆記試験・ワーク・演習への取り組み・出席状況など総合的に判断します)				
学生へのメッセージ					

分野: 専門分野 科目: 災害看護学・国際看護学 【1単位: 30時間 授業回数: 15回】					
担当教員	山崎 宏美 伊達 卓二 藤田 千代子 服部 道枝	年次・ 開講時期	3年前期	授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習
授業の概要	災害直後から支援できる看護の役割について理解する。 グローバル社会において、広い視野に基づき看護師として活動できる基本を学ぶ。				
到達目標	1. 災害看護学・国際看護学の原則が理解できる。 2. 災害の種類とその特徴が理解できる。 3. 災害看護の役割が理解できる。 4. グローバル社会における看護師の役割が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって	講義 GW		服部
	2	災害看護の基礎知識① 災害看護のあゆみ 災害の定義と役割 災害看護の対象と特徴	講義 GW		服部
	3	災害看護の基礎知識② 災害看護における倫理課題と法律 災害活動に必要な情報	演習 GW		服部
	4	国際看護学とは	講義 GW		服部
	5	文化を考慮した看護 日本における文化や制度を考慮した在留外国人への看護の実践	演習 GW		服部
	6	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護	講義		山崎
	7	被災者特性に応じた災害看護の展開①	講義		山崎
	8	被災者特性に応じた災害看護の展開②	講義		山崎
	9	災害とこころのケア	講義		山崎
	10	グローバリゼーション 保健医療分野の国際協力①	講義		伊達
	11	グローバリゼーション 保健医療分野の国際協力②	講義		伊達
	12	開発途上国における国際看護の実践①	講義 GW		服部
	13	開発途上国における国際看護の実践②	講義 GW		藤田
	14	災害看護の実際	講義 演習		服部
15	災害看護の実際	講義 演習		服部	
使用テキスト等	系統看護学講座 災害看護学・国際看護学 【医学書院】				
主たる参考図書・文献	大橋一友/岩澤和子 国際化と看護【メディカ出版】 中村哲著「医は国境を越えて」【石風社】 DVD				
評価方法	終講試験(筆記試験、レポート、講義や演習の参加態度など)				
学生へのメッセージ	国際的な視野を広げよう！！				

分野:専門分野 科目:統合看護技術 【 1単位:15時間 授業回数:8回 】

担当教員	高園 真理子・服部 道枝	年次・ 開講時期	3年後期	授業形態	講義	演習
授業の概要	統合看護技術ではOSCE(客観的臨床能力試験)を行う。3年間で学習した知識・技術を統合し、その場で与えられた臨床課題に対して模擬患者へ必要な援助を実施する。OSCE後には、模擬患者と評価者(教員)から暖かなフィードバックを受け、さらなる学習の動機付けとする。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の状況を判断し、必要な看護援助を考えることができる。 2. 対象に関心を持ち、緊急性や重症度を見極めながら優先順位を判断し実践できる。 3. 対象におこる突発的な事象に対応できる。 4. 実施した看護を振り返り、よりよい看護を行うために自己の課題を見直すことができる。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	1. オリエンテーション 2. 対象を理解するための知識の確認 3. 対象の状態や状況に応じた看護実践	講義	1. 自己課題 2. アセスメントシート 3. 学力試験	高園 服部	
	2	1) 事例に沿ったフィジカルアセスメント 2) 事例の状況にあった援助の検討 3) 知識を統合し駆使した実践	演習		高園 服部	
	3	4) 実践を通してのデブリーフィング 5) 看護における多重課題 ① 予期できるもの・予期できないもの ② ケア・処置の優先度 ③ 複数の業務の優先度 ④ 緊急度・重症度	演習		高園 服部	
	4	6) 報告場面の演習・ISBARCの活用 7) 優先度を含む判断 ① 患者の状態や状況判断 ② 複数患者の状況の解釈	演習		高園 服部	
	5					
	6	1. 客観的臨床能力試験(OSCE) 2. OSCE後リフレクション	技術試験		高園 服部	
	7					
8						
使用テキスト等	規定なし					
主たる参考図書・文献	規定なし					
評価方法	事前課題・演習態度・学力試験・OSCE技術試験・SP評価を総合して評価する					
学生へのメッセージ	統合実習を終え、3年間の学習の集大成の技術試験です。模擬患者さんのご協力を得て試験を行います。臨床で働く看護師をイメージして取り組んでください。					

領域横断

分野:領域横断		科目:看護研究		【1単位: 30時間	授業回数:	15回】
担当教員	森 由紀 真田 洋子	年次・ 開講時期	3年通年	授業形態	講義	演習
授業の概要	看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問、あるいは問題を科学的に探究する能力を養うと共に、看護研究の基礎を学ぶ。					
到達目標	1. 研究に関する基礎知識が理解できる 2. 研究の進め方が理解できる 3. 研究の倫理的配慮について説明できる 4. パソコンを用いて文献検索ができる 5. ケーススタディにまとめることができる					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	研究とは何か 看護研究とは 研究デザインについて	講義		森	
	2	研究の種類と特徴 研究計画書について	講義		森	
	3	医療統計について Google scholarについて	講義		森	
	4	事例研究の特徴 事例研究において重要なこと	講義		真田	
	5	研究計画書 文献検索	講義 演習	基礎Ⅱの事例で 看護を考える	真田	
	6	看護理論を使って事例を振り返る	講義 演習	基礎Ⅱの事例で 看護を考える	真田	
	7	事例研究の進め方 文献収集、資料のまとめ方	講義 演習	基礎Ⅱの事例で 看護を考える	真田	
	8	はじめに、看護の実践、考察の考え方	講義 演習	基礎Ⅱの事例で 看護を考える	真田	
	9	著作物の引用、文献の記載方法	講義 演習	基礎Ⅱの事例で 看護を考える	真田	
	10	理論を用いて完成させる	講義 演習	基礎Ⅱの事例で 看護を考える	真田	
	11	ケーススタディ(事例のまとめ)1	演習	実習ファイル を持ってくる	真田	
	12	ケーススタディ(事例のまとめ)2	演習	実習ファイル を持ってくる	真田	
	13	ケーススタディ(事例のまとめ)3	演習	実習ファイル を持ってくる	真田	
	14	ケーススタディ(事例のまとめ)4	演習	実習ファイル を持ってくる	真田	
	15	ケーススタディ(事例のまとめ)5	演習	実習ファイル を持ってくる	真田	
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 看護研究【医学書院】 はじめて学ぶ ケーススタディ 第2版:書き方のキホンから発表のコツまで【総合医学社】					
主たる参考図書・文献	黒田裕子の看護研究StepbyStep【学研】 医療従事者のための情報リテラシー【日経BP社】					
評価方法	筆記試験、ケーススタディ、受講態度					
学生へのメッセージ						

分野:領域横断

科目:家族看護

【1単位: 15時間 授業回数: 8回】

担当教員	池田 敦子	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義	演習
授業の概要	家族成員の疾患や障害及び家族を取り巻く外部環境が家族システムに及ぼす影響について学ぶ。個々の家族特性に合わせた家族の力を引き出す看護の必要性和看護展開について学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族成員の健康問題および社会が家族全体に及ぼす影響について理解できる。 2. 対象者としての家族の特性を理解できる。 3. ライフサイクルに応じた家族看護の実際を理解できる。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1	家族看護とは ・なぜ家族看護を学ぶのか ・家族看護の特徴と理念 ・家族看護の実践の場面	講義・演習			
	2	家族看護の対象理解 ・家族とは ・家族構造 ・家族機能 ・現代の家族とその課題	講義・演習			
	3	家族理解するための理論と介入法 ・家族を理解するための理論 ・家族の変化を把握するための理論 ・家族に変化をもたらすための介入	講義・演習			
	4	家族看護展開の方法 ・家族看護過程とは ・家族看護の実際 ・さまざまな家族アセスメントモデル	講義・演習			
	5		講義・演習			
	6	事例に基づく家族の理解と家族看護の実際 ・母性看護 ・小児看護 ・成人看護 ・老年看護 ・精神看護	講義・演習			
	7	地域・在宅看護 における患者と家族	講義・演習			
8		講義・演習				
使用テキスト等	系統看護学講座別巻 家族看護学【医学書院】 看護がみえるvol.5 対象の理解 I【メディックメディア】					
主たる参考図書・文献	家族看護論 第2版【医歯薬出版株式会社】					
評価方法	終講試験(筆記試験・レポート・グループワークなどで評価します)					
学生へのメッセージ						

分野:領域横断 科目:気づきのトレーニング 【 1単位:30時間 授業回数:15回 】

担当教員	池西 静江 服部 道枝 高園 真理子 川原 千恵美 森 真澄	年次・ 開講時期	2年通年	授業形態	講義 演習
授業の概要	臨床判断能力養うために、気づきのトレーニングを段階的に学修し、「気づく」から「解釈」「反応」し行為から省察することで、臨床的な学びにつなげていく。				
到達目標	1. 臨床判断とは何かを理解し看護過程との関係を理解する。 2. 臨床現場で遭遇しやすい事例を通して、臨床判断過程を思考する。 3 シミュレーション学習を通し、臨床判断の思考過程を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	1. 臨床判断 1) 臨床判断とは 2) 臨床判断の構成概念	講義・GW	事前課題 ポストテスト	池西
	2	3) 臨床判断のプロセス 4) 看護過程と臨床判断の関連			
	3	2. 臨床推論 1) 臨床推論とは			
	4	“臨床判断の実際① 臨床現場で遭遇しやすい臨床判断を学ぶ”	講義・GW		高園
	5	3. 臨床判断の実際 1) シナリオシミュレーション演習	演習・GW		川原
	6	①環境不応患者の対応			
	7	4. 臨床判断の実際 1) シナリオシミュレーション演習	演習・GW		川原
	8	①心不全急性増悪患者の対応			
	9	5. 臨床判断の実際 1) シナリオシミュレーション演習	演習・GW		高園
	10	①統合失調症患者の対応			
	11	6. 臨床判断の実際 1) シナリオシミュレーション演習	演習・GW		森
	12	①産褥期の母親の役割を知る・対応する			
	13	7. 臨床判断の実際 1) シナリオシミュレーション演習	演習・GW		服部
	14	①小児 喘息の児への対応			
15	8. まとめ 1) 臨床判断能力の向上をめざして	講義	個人ワーク	高園	
使用テキスト等	資料配布する 講義内で参考文献は伝える。				
主たる参考文献・資料	三浦友理子 奥裕美著 臨床判断ティーチングメソッド 医学書院, 2020				
評価方法	事前課題ワーク・授業ワークシートによる事例展開・演習など総合的に判断します				
学生へのメッセージ	欠席がないように全日出席しましょう。				

分野:領域横断 科目:薬物療法と看護 【 1単位: 15時間 授業回数 8回 】						
担当教員	池西 静江 福田 早苗 高園 真理子	年次・ 開講時期	2年後期	授業形態	講義	演習
授業の概要	薬物の効用と副作用のバランスを考慮しながら、服薬指導・管理を検討し、患者の薬剤アドヒアランスの向上を目指す。さらに、緊急応急処置や慢性疾患管理等に必要な薬剤を中心に、薬剤使用の判断、投薬後の観察など看護技術について習得する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達段階の特徴と薬物療法が対象へ及ぼす影響を理解できる。 2. 健康状態（経過）に応じた薬物療法の特徴を理解できる。 3. 事例を通して薬物療法を受ける対象への支援のあり方を考える。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	事前 学習等	担当	
	1	薬物療法における基礎的知識と看護師の役割 1) 薬物療法の意義 2) 薬物が対象に及ぼす影響 (薬物動態・作用・副作用・相互作用等) 3) 薬物療法における看護師の役割 4) コンプライアンス・アドヒアランス	講義	事前 ワーク	池西	
	2	【成人の心不全事例】 主要疾病のある対象の薬物療法の特徴	講義	ワーク	池西	
	3	【切迫流産事例】 妊産婦と胎児及び新生児の薬と催奇形の関係 切迫流産に使用される薬剤	講義	ワーク	高園 福田	
	4	【小児の喘息発作の事例】 小児領域で使用する薬剤の子どもと母親への 対応	講義	ワーク	高園 福田	
	5	【老年の肺炎の事例】 高齢者の薬物療法と看護	講義	ワーク	福田 高園	
	6	【退院から在宅療養事例】 在宅における薬物療法とがん外来化学療法	講義	ワーク	高園 福田	
	7	事例に応じた薬物療法看護演習	演習	GW	高園 福田	
	8	事例に応じた薬物療法看護演習	演習	GW	高園 福田	
使用テキスト等	系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学各論、母性看護学2、医学書院 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、小児看護各論、小児看護学②、医学書院 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、循環器、成人看護学③、医学書院 系統看護学講座、専門基礎分野、薬理学、疾病のなりたちと回復の促進〔3〕、医学書院					
主たる参考文献・文献	その都度提示します。課題事前学習をして取り組みます。					
評価方法	終講試験・課題ワークシート・演習・出席など総合的に判断します。					
学生へのメッセージ	成人・老年・母性・小児・在宅の領域を超えて薬物療法を受ける看護の役割と援助方法について理解を深めましょう。欠席がないようにしてください。					

分野:領域横断

科目: 周術期と看護

【1単位: 30時間

授業回数: 15回】

担当教員	宮崎 亜矢子	年次・開講時期	2年前期	授業形態	講義 演習
授業の概要	周術期にある対象とその家族の特徴を理解し、回復過程が円滑に進むための看護の視点を理解する。また、チーム医療の中で看護師が果たす役割を明確にし、安全・安楽を保障する周術期看護を実践するための知識と技術を習得する。				
到達目標	1. 手術を受ける対象とその家族について、全人的に理解する 2. 手術や麻酔に伴う手術侵襲とその生体反応について理解できる 3. 回復過程における術後合併症の予防的介入を理解する 4. 看護師が担う役割を理解し、多職種との連携について理解する				
授業計画	授業内容	授業方法	事前学習等	担当	
	1 周術期看護とは 手術を受ける患者とその家族の理解 意思決定支援	講義 演習		宮崎	
	2 術前看護① 情報収集、リスクアセスメント	講義 演習		宮崎	
	3 術前看護② 術前準備、術前オリエンテーション	講義 演習		宮崎	
	4 術中看護 手術室環境、安全管理、チーム医療 手術室看護師の役割	講義 演習		宮崎	
	5 麻酔(全身麻酔、区域麻酔)の基礎 手術体位	講義 演習		宮崎	
	6 手術侵襲と生体反応 循環・呼吸・代謝・免疫	講義 演習		宮崎	
	7 術後看護① 術後患者を迎えるための環境調整 術直後の状態観察、対応	講義 演習		宮崎	
	8 術後看護② 疼痛管理、早期離床に向けた援助	講義 演習		宮崎	
	9 術後看護③ 術後合併症の理解と予防的介入	講義 演習		宮崎	
	10 手術を受ける高齢者の看護	講義 演習		宮崎	
	11 手術を受ける小児とその家族の看護	講義 演習		宮崎	
	12 周術期に必要な看護技術① 手術時手指消毒、滅菌ガウンテクニック 創傷処置、ドレーン固定・管理	演習		宮崎	
	13 周術期に必要な看護技術② 術後患者の観察 点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換	演習		宮崎	
	14 周術期に必要な看護技術③ 輸血療法を行う患者への看護	演習		宮崎	
15 術後経過と看護実践のカレンダー作成	講義 GW		宮崎		
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論【医学書院】				
主たる参考図書・文献	急性期実習に使える！周術期看護 ぜんぶガイド【照林社】				
評価方法	事前課題、演習、終講試験(筆記試験)、術後経過カレンダーで総合的に評価する				
学生へのメッセージ	事前学習を行って、講義に参加しましょう				

分野:領域横断		科目:エンド・オブ・ライフ・ケア		【 1単位: 15時間 授業回数: 8回 】	
担当教員	森 千穂美 西 恵美子	年次・開講時期	2年後期	授業形態	講義 演習
授業の概要	その人らしい生を支える看護としてとらえ、身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛の緩和やコミュニケーション、家族ケア、臨死期のケア、倫理的問題の基本的な知識や考え方を養うとともに、人生の最期のときを過ごしている対象と家族の持つ力を支える看護について学ぶ。				
到達目標	1. 人生の最期のときを過ごしている対象と家族の特徴に応じた看護援助を理解する。 2. 死生観について考える。				
授業計画		授業内容	授業方法	事前学習等	担当
	1	緩和ケア概論 ・定義 ・緩和ケアの理念 ・対象者(すべての人)、対象疾患 ・緩和ケアの現状(施設の概要、多職種連携) ・緩和ケアにおける看護師の役割	講義		森
	2	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題 ・生命倫理、看護倫理 ・ACP、意思決定支援、代理意思決定支援 ・延命治療の差し控えと中止 ・苦痛緩和のための鎮静 臨死期のケア ・症状と全身状態の変化 ・治療とケア(全人的苦痛の緩和) ・家族への説明とケア ・鎮静 ・看取りのケア ・死後のケア(エンゼルケア、湯灌)	講義		森
	3	全人的ケアの実践 ①身体的ケア ②精神的ケア ・対象(すべての人)の特徴も含む ・家族ケア	講義		森
	4	全人的ケアの実践 ①社会的ケア ②スピリチュアルケア ・対象(すべての人)の特徴も含む ・家族ケア	講義		森
	5	事例の提示、GW ・事例を用いて、全人的苦痛、ケアについて考える	GW		西
	6	全人的苦痛、ケアについて発表①	発表		西
	7	全人的苦痛、ケアについて発表②	発表		西
	8	エンドオブライフケアまとめ	講義		西
使用テキスト等	系統看護学講座 別巻 緩和ケア【医学書院】				
主たる参考図書・文献	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論【医学書院】 系統看護学講座 専門分野 老年看護学【医学書院】 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア【メディカ出版】				
評価方法	GW、課題、筆記試験で総合的に評価を行う				
学生へのメッセージ	振り返りを行い、GWでは自分の考えが述べられるようにしましょう。				